

基本計画書

基本計画								
事項		記入欄					備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更						
フリガナ設置者		コクリツダイガクホウジンヒロサキダイガク 国立大学法人弘前大学						
フリガナ大学の名称		ヒロサキダイガク 弘前大学 (Hirosaki University)						
大学本部の位置		青森県弘前市大字文京町1番地						
大学の目的		弘前大学は、教育基本法（平成18年法律第120号）第7条の規定に基づき、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者を育成することを目的とする。						
新設学部等の目的		現在の医療を取り巻く環境の変化や社会経済状況の変化に伴い、医師の不足・地域偏在は依然として大きな問題であり、へき地を含む地域での医師の確保は極めて困難なものとなっている。本学が位置する青森県は全国でも医師の不足が特に深刻であると認められたことから、重点的な医学部定員の暫定措置を実施してきたところであるが、依然として医師の不足は深刻な状態にある。よって、これまでに実施された重点的な医学部定員増措置（15名）を継続し、より一層の医師確保対策を推進する。						
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	人文社会科学部	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	青森県弘前市大字文京町1番地
	文化創生課程	4	110	0	440	学士(人文社会科学)	平成28年度	
	社会経営課程	4	155	0	620	学士(人文社会科学)	平成28年度	
	教育学部							青森県弘前市大字文京町1番地
	学校教育教員養成課程	4	150	0	600	学士(教育学)	平成12年度	
	養護教諭養成課程	4	20	0	80	学士(教育学)	平成12年度	
	医学部							青森県弘前市大字在府町5番地
	医学科	6	112 (97)	2年次 20	664 (634)	学士(医学)	平成30年4月 第1年次	
	保健学科	4	200	3年次 30	860	学士(看護学又は保健学)	平成12年度	青森県弘前市大字本町66番地1
	理工学部							青森県弘前市大字文京町3番地
	数物科学科	4	78	3年次 2	316	学士(理工学)	平成28年度	
	物質創成化学科	4	52	3年次 1	210	学士(理工学)	平成18年度	
	地球環境防災学科	4	65	3年次 2	264	学士(理工学)	平成28年度	
	電子情報工学科	4	55	3年次 2	224	学士(理工学)	平成18年度	
	機械科学科	4	80	3年次 2	324	学士(理工学)	平成28年度	
	自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	122	学士(理工学)	平成28年度	
	農学生命科学部							青森県弘前市大字文京町3番地
	生物学科	4	40	0	160	学士(農学生命科学)	平成20年度	
分子生命科学科	4	40	0	160	学士(農学生命科学)	平成20年度		
食料資源学科	4	55	0	220	学士(農学生命科学)	平成28年度		
国際園芸農学科	4	50	0	200	学士(農学生命科学)	平成28年度		
地域環境工学科	4	30	0	120	学士(農学生命科学)	平成20年度		
計		1,322 (1,307)	2年次 20 3年次 40	5,584 (5,554)				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし						
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位		

教 員 組 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等						兼 教 員 等
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
教 員 組 の 概 要	新 設	人文社会科学部 教育学部 大学院医学研究科 大学院保健学研究科 大学院理工学研究科 農学生命科学部 大学院地域社会研究科 計	人	人	人	人	人	人	人
			31 (31)	30 (30)	13 (13)	0 (0)	74 (74)	0 (0)	49 (49)
			43 (43)	26 (26)	18 (18)	0 (0)	87 (87)	1 (1)	74 (74)
			36 (36)	29 (29)	21 (21)	71 (71)	157 (157)	18 (18)	72 (72)
			28 (28)	14 (14)	22 (22)	23 (23)	87 (87)	6 (6)	31 (31)
			40 (40)	38 (38)	3 (3)	17 (17)	98 (98)	1 (1)	11 (11)
			26 (26)	32 (32)	0 (0)	15 (15)	73 (73)	0 (0)	12 (12)
			1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	205 (205)	171 (171)	77 (77)	126 (126)	579 (579)	26 (26)	－ (－)		
	既 設	医学部附属病院 北日本新エネルギー研究所 白神自然科学研究所 被ばく医療総合研究所 食料科学研究所 生涯学習教育研究センター 保健管理センター 国際連携本部 教育研究推進機構 研究・イノベーション推進機構 COI研究推進機構 COC推進室 男女共同参画推進室 計	0 (0)	10 (10)	34 (34)	64 (64)	108 (108)	28 (28)	0 (0)
			4 (4)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	1 (1)
			1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
			3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
			1 (1)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	2 (2)
			0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
			1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
			0 (0)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	5 (5)	0 (0)	4 (4)
			1 (1)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	8 (8)	0 (0)	60 (60)
			1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
			1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
0 (0)			0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	4 (4)	
0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)			
13 (13)	25 (25)	41 (41)	77 (77)	156 (156)	28 (28)	－ (－)			
合 計		218 (218)	196 (196)	118 (118)	203 (203)	735 (735)	54 (54)	－ (－)	
教員以外の職員 の概要	職 種		専 任		兼 任		計		
	人		人		人		人		
	事 務 職 員		300 (300)		288 (288)		588 (588)		
	技 術 職 員		755 (755)		295 (295)		1,050 (1,050)		
	図 書 館 専 門 職 員		4 (4)		0 (0)		4 (4)		
	そ の 他 の 職 員		6 (6)		95 (95)		101 (101)		
計		1,065 (1,065)		678 (678)		1,743 (1,743)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地	76,254 m ²	0 m ²		0 m ²		76,254 m ²		
	運 動 場 用 地	82,910 m ²	0 m ²		0 m ²		82,910 m ²		
	小 計	159,164 m ²	0 m ²		0 m ²		159,164 m ²		
	そ の 他	169,525 m ²	0 m ²		0 m ²		169,525 m ²		
	合 計	328,689 m ²	0 m ²		0 m ²		328,689 m ²		

校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
		166,219 m ² (166,219 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	166,219 m ² (166,219 m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	102 室	111 室	459 室	12 室 (補助職員 0人)	7 室 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数					
		大学全体			505 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体		
	大学全体	819,585 [232,294] (819,585 [232,294])	24,260 [6,216] (24,260 [6,216])	7,387 [5,595] (7,387 [5,595])	2,172 (2,172)	6,082 (6,082)	10 (10)			
		計	819,585 [232,294] (819,585 [232,294])	24,260 [6,216] (24,260 [6,216])	7,387 [5,595] (7,387 [5,595])	2,172 (2,172)	6,082 (6,082)		10 (10)	
図書館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		7,680 m ²		626 席		867,806 冊				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		文京町		野球場 (2面)		武道場 (883m ²)				
		3,394 m ²		弓道場 (140m ²)		テニスコート (8面)				
		本町		プール (50m)		サッカー・ラグビー場 (2面)				
		1,457 m ²		馬房 (196m ²)		400mトラック				
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費
		教員1人当り研究費等								
		共同研究費等								
		図書購入費								
	設備購入費									
		学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要									
大 学 の 名 称弘前大学										
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
【学部】		年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部							1.02			
文化創生課程		4	110	0	220	学士(人文社会科学)	1.02	平成28年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
社会経営課程		4	155	0	310	学士(人文社会科学)	1.01	平成28年度	同上	
人文学部										
人間文化課程		4	—	—	—	学士(人文社会科学)	—	平成17年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
現代社会課程		4	—	—	—	学士(人文社会科学)	—	平成17年度	同上	
経済経営課程		4	—	—	—	学士(人文社会科学)	—	平成17年度	同上	
教育学部							1.05			
学校教育教員養成課程		4	150	0	590	学士(教育学)	1.06	平成12年度	青森県弘前市大字文京町1番地	
養護教諭養成課程		4	20	0	90	学士(教育学)	1.00	平成12年度	同上	
生涯教育課程		4	—	—	—	学士(教育学)	—	平成12年度	同上	
医学部							1.01			
医学科		6	112	2年次 20	760	学士(医学)	1.00	昭和24年度	青森県弘前市大字在府町5番地	
保健学科		4	200	3年次 30	860	学士(看護学又は保健学)	1.02	平成12年度	青森県弘前市大字本町66-1番地	

平成28年度より
学生募集停止

平成28年度入学定員増(5人)
平成28年度入学定員減(△5人)
平成28年度より学生募集停止

平成25年度入学定員増(2人)
平成26年度入学定員増(5人)

既設大学等の状況	理工学部					1. 01			
	数物科学科	4	78	3年次 2	156	学士（理工学）	1. 00	平成28年度	青森県弘前市大字文京町3番地
	物質創成化学科	4	52	3年次 1	196	学士（理工学）	1. 00	平成18年度	同上
	地球環境防災学科	4	65	3年次 2	130	学士（理工学）	1. 01	平成28年度	同上
	電子情報工学科	4	55	3年次 2	226	学士（理工学）	1. 07	平成18年度	同上
	機械科学科	4	80	3年次 2	160	学士（理工学）	1. 01	平成28年度	同上
	自然エネルギー学科	4	30	3年次 1	60	学士（理工学）	1. 00	平成28年度	同上
	数理科学科	4	—	—	—	学士（理工学）	—	平成18年度	青森県弘前市大字文京町3番地
	物理科学科	4	—	—	—	学士（理工学）	—	平成18年度	同上
	地球環境学科	4	—	—	—	学士（理工学）	—	平成18年度	同上
	知能機械工学科	4	—	—	—	学士（理工学）	—	平成18年度	同上
	農学生命科学部					1. 02			
	生物学科	4	40	0	160	学士（農学生命科学）	1. 02	平成20年度	青森県弘前市大字文京町3番地
	分子生命科学科	4	40	0	160	学士（農学生命科学）	1. 02	平成20年度	同上
	食料資源学科	4	55	0	110	学士（農学生命科学）	1. 01	平成28年度	同上
	国際園芸農学科	4	50	0	100	学士（農学生命科学）	1. 02	平成28年度	同上
	地域環境工学科	4	30	0	120	学士（農学生命科学）	1. 03	平成20年度	同上
	生物資源学科	4	—	—	—	学士（農学生命科学）	—	平成20年度	青森県弘前市大字文京町3番地
	園芸農学科	4	—	—	—	学士（農学生命科学）	—	平成20年度	同上
	【大学院】								
	人文社会科学研究科					1. 25			
	（修士課程）								
	文化科学専攻	2	10	0	20	修士（人文社会科学）	1. 50	平成11年度	青森県弘前市大字文京町1番地
	応用社会科学専攻	2	6	0	12	修士（人文社会科学）	0. 83	平成11年度	同上
	教育学研究科					1. 21			
	（修士課程）								
	学校教育専攻	2	16	0	22	修士（教育学）	1. 31	平成6年度	青森県弘前市大字文京町1番地
	教科教育専攻	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成6年度	同上
	養護教育専攻	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成14年度	同上
	（専門職学位課程）								
	教職実践専攻	2	16	0	16	教職修士（専門職）	1. 12	平成29年度	同上
	医学研究科					0. 98			
	（博士課程）								
	医科学専攻	4	60	0	220	博士（医学）	0. 98	平成16年度	青森県弘前市大字在府町5番地
	保健学研究科								
	（博士前期課程）					1. 00			
	保健学専攻	2	30	0	60	修士（看護学又は保健学）	1. 06	平成19年度	青森県弘前市大字本町66-1番地
	（博士後期課程）								
	保健学専攻	3	12	0	33	博士（保健学）	0. 83	平成19年度	同上
	理工学研究科					0. 91			
	（博士前期課程）								
	理工学専攻	2	120	0	240	修士（理工学）	0. 90	平成22年度	青森県弘前市大字文京町3番地

平成28年度入学定員増(6人)

平成28年度入学定員減(△3人)

平成28年度より
学生募集停止

平成28年度より
学生募集停止

平成29年度入学定員増(10人)

平成29年度より
学生募集停止

平成28年度入学定員増(10人)

平成28年度入学定員増(3人)

(博士後期課程)	機能創成科学専攻	3	6	0	16	博士 (理学又は工学)	0.33	平成16年度	同上
	安全システム工学専攻	3	6	0	16	博士 (理学又は工学)	1.83	平成16年度	同上
	農学生命科学研究科 (修士課程)						0.83		
	農学生命科学専攻	2	60	0	120	修士 (農学生命科学)	0.83	平成24年度	青森県弘前市大字文京町3番地
	地域社会研究科 (博士課程)						1.50		
	地域社会専攻	3	6	0	18	博士 (学術)	1.50	平成14年度	青森県弘前市大字文京町1番地
(附置研究所) 名 称：北日本新エネルギー研究所 目 的：新エネルギーの研究開発を行い、本学の教育研究の進展と社会及び産業の発展に資することを目的とする。 所 在 地：青森市大字松原2丁目1番地3 設置年月：平成22年10月 規 模 等：土地 1,604㎡、建物 2,454㎡ 名 称：白神自然環境研究所 目 的：本学の教育、研究、社会連携による地域貢献の推進を図ることを目的とする。 所 在 地：中津軽郡西目屋村大字川原平大川添101番地1 設置年月：平成22年10月 規 模 等：土地 178,560㎡、建物 255㎡ 名 称：被ばく医療総合研究所 目 的：本学における放射線被ばく医療に関する研究を推進し、各学部、各研究科等における教育の支援等を行うほか、緊急被ばく事故に対応できる専門的人材の養成を行うことを目的とする。 所 在 地：弘前市大字本町66番地1 設置年月：平成22年10月 規 模 等：保健学研究科内 名 称：食料科学研究所 目 的：本学における食料科学に関わる専門的かつ学際的な研究を推進し、本学の教育研究社会及び産業の発展に資することを目的とする。 所 在 地：青森市大字柳川2丁目1番地1 設置年月：平成25年3月 規 模 等：土地 516㎡、建物 316㎡ (附属図書館) 名 称：附属図書館 目 的：附属図書館は、教育、研究及び学習活動に資するため、図書、雑誌その他の資料を収集、管理し、本学の職員及び学生の利用に供するとともに、地域社会の図書館活動に協力し、学術情報の利用に寄与することを目的とする。 所 在 地：(本館) 弘前市大字文京町1番地 (医学部分館) 弘前市大字在府町5番地 設置年月：(本館) 昭和24年5月 (分室) 昭和27年3月 規 模 等：(本館) 土地 135,267㎡、建物 6,111㎡ (医学部分館) 医学部内 (学部等の附属施設) 名 称：教育学部附属幼稚園 目 的：幼児に適切な環境を与えてその心身の調和的発達を助長するとともに、教育学部における幼児教育の実証的研究に協力すること、教育実習の場となり、学生の実習指導を行うこと、幼児教育の促進向上のために、積極的に地域の教育機関に協力、寄与することを達成することをもって目的とする。									

所 在 地：弘前市大字学園町1番地1 設置年月：昭和26年4月 規 模 等：建物 1,065㎡ 名 称：教育学部附属小学校 目 的：心身の発達に応じて初等普通教育を施し、併せて教育学部における小学校教育の実証的研究に協力し、又、学部の計画に従い、学生の実習の実施に当たるほか、小学校教育の振興、向上発展のために、積極的に地域の教育機関に協力、寄与することをもって目的とする。 所 在 地：弘前市大字学園町1番地1 設置年月：昭和40年4月 規 模 等：建物 8,288㎡ 名 称：教育学部附属中学校 目 的：小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施し、併せて教育学部における中学校教育の実証的研究に協力し、また、学部の計画に従い、学生の実習の実施に当たるほか、中学校教育の振興、向上発展のために、積極的に地域の教育機関に協力、寄与することをもって目的とする。 所 在 地：弘前市大字学園町1番地1 設置年月：昭和40年4月 規 模 等：建物 8,171㎡ 名 称：教育学部附属特別支援学校 目 的：知的障害者に対して、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施し、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けるとともに、教育学部における知的障害教育の実証的研究に協力すること、教育実習の場となり、学生の実習指導を行うこと、知的障害教育の発展のため、積極的に地域の教育機関に協力することを達成することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字富野町1番地76 設置年月：平成19年4月 規 模 等：土地 10,617㎡、建物 3,874㎡ 名 称：教育学部附属教育実践総合センター 目 的：附属学校園及び他の教育諸機関並びに地域社会と連携し、教育実践と学修支援に関する業務を担い、実践的指導力を持つ教員の養成に寄与するとともに、地域社会の教育活動を支援することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町1番地 設置年月：平成13年4月 規 模 等：建物 541㎡ 名 称：教育学部附属教員養成学研究開発センター 目 的：教員養成学（教員養成の方法と効果に関する理論的実証的研究）を推進し、カリキュラム開発等に反映させることを通じて教員養成諸活動の不断の改善に寄与することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町1番地 設置年月：平成15年10月 規 模 等：教育学部内 名 称：教育学部附属教員免許状更新講習支援室 目 的：更新講習に係る企画、立案、調整及び実施に関すること、講習内容及び実施方法の改善に関すること等の業務を行い、本学における更新講習の充実及び発展に寄与することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町1番地 設置年月：平成20年10月 規 模 等：教育学部内 名 称：医学部附属病院 目 的：病院は、医学の教育及び研究の目的をもって、患者の診療を行うところとする。 所 在 地：弘前市大字本町53番地 設置年月：昭和24年5月 規 模 等：土地 94,511㎡、建物 74,320㎡
--

附属施設の概要	名 称：医学研究科附属脳神経血管病態研究施設 目 的：脳神経疾患の成因・病態の解明，診断法の確立，治療・社会復帰促進などに関する研究の推進を目指す。 所 在 地：弘前市大字在府町5番地 設置年月：平成11年4月 規 模 等：医学研究科内
	名 称：医学研究科附属高度先進医学研究センター 目 的：プロジェクト型研究施設，共通機器施設としての機能を備え，疾病発生のメカニズムを分子レベルで解明し，実際の臨床の場に還元できるような研究を推進することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字在府町5番地 設置年月：平成17年4月 規 模 等：医学研究科内
	名 称：医学研究科附属動物実験施設 目 的：実験動物の飼育管理の充実を図り，精度の高い動物実験による高度な研究・教育の推進を目指す。 所 在 地：弘前市大字在府町5番地 設置年月：昭和54年4月 規 模 等：建物 4,894㎡
	名 称：医学研究科附属子どものこころの発達研究センター 目 的：様々な機関との連携を通し，子どものこころの問題に関する医療的支援や教育・研究活動を進め，東北地区の子どもに対する支援体制の整備や，研究拠点の創生を目的とする。 所 在 地：弘前市大字在府町5番地 設置年月：平成26年4月 規 模 等：医学研究科内
	名 称：理工学研究科附属地震火山観測所 目 的：地震観測及び火山観測並びに地震及び火山に関する研究を行い，併せて学生の地震学の実習を行うことを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町3番地 設置年月：昭和56年4月 規 模 等：建物 268㎡
	名 称：理工学研究科附属医用システム創造フロンティア 目 的：学内連携，地域連携による医用システムに関する研究，教育，社会貢献に関するCOC（Center Of Community：地域連携拠点）の機能を担い，研究分野では医学と理工学が協同し，地域企業との連携により新たな医用システム産業の創出を目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町3番地 設置年月：平成26年4月 規 模 等：理工学研究科内
	名 称：農学生命科学部附属遺伝子実験施設 目 的：動植物微生物の遺伝子及びその機能に関わる基礎研究と動植物の品種改良など遺伝子工学に基づく応用研究を推進することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町3番地 設置年月：平成5年4月 規 模 等：建物 1,527㎡
	名 称：農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 目 的：フィールドサイエンス教育及び研究の拠点施設として，青森県の基幹産業である農業を教育・研究の両面から活性化し，地域の優れた人材，資源，技術，環境を地域から日本全国または世界へと発信することを目的とする。 所 在 地：（藤崎農場）南津軽郡藤崎町大字藤崎下袋7番地1 （金木農場）五所川原市大字金木町芦野84番地 （深浦実験所）西津軽郡深浦町大字吾妻沢173番地 設置年月：（藤崎農場）平成12年4月 （金木農場）平成12年4月 （深浦実験所）平成12年4月 規 模 等：（藤崎農場）土地 142,607㎡，建物 2,391㎡ （金木農場）土地 353,798㎡，建物 4,806㎡ （深浦実験所）土地 798㎡，建物 165㎡

	(学内共同教育研究施設) 名 称：総合情報処理センター 目 的：情報処理システムを整備運用し、本学における教育、研究、学術情報サービス及び事務処理のための利用に供するとともに、効率的な情報処理を行うことを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町3番地 設置年月：平成6年6月 規 模 等：建物 2,351㎡ 名 称：生涯学習教育研究センター 目 的：生涯学習に関する教育(医学及び保健に関することを含む。)及び研究を行い、本学の教育研究の進展と地域における生涯学習の振興に資することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町3番地 設置年月：平成8年5月 規 模 等：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大内 名 称：保健管理センター 目 的：本学学生等及び職員の保健管理に関する専門的業務の実施に当たることを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町1番地 設置年月：昭和42年6月 規 模 等：建物 477㎡ 名 称：アイソトープ総合実験室 目 的：放射性同位元素を使用する教育研究及び放射性同位元素の使用に関する安全管理を行うとともに、一般社会に対する放射線障害の防止に関する啓発を行うことを目的とする。 所 在 地：弘前市大字在府町5番地 設置年月：平成11年10月 規 模 等：医学部内 名 称：機器分析センター 目 的：有機・無機物質の組成分析及び構造解析並びに機能性素材・生体試料等の形態観察及び物性計測並びに冷媒製造を含む低温科学に必要な大型機器の効率的及び積極的利用を図り、本学の研究教育の進展に資するとともに学外からの利用の要望に積極的に対応し、地域社会への貢献を目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町3番地 設置年月：平成15年9月 規 模 等：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大内 名 称：出版会 目 的：学術関連図書及び教科書の刊行・頒布を主たる事業とし、本学の研究とその成果の発表を助成するとともに、我が国の学術・教育・文化の振興・発展に寄与することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町1番地 設置年月：平成16年6月 規 模 等：附属図書館（本館）内 名 称：資料館 目 的：本学における歴史的、博物的、学術的資料を展示、保存及び整理し、教育研究及び学習活動に資するとともに、地域社会の教育文化の発展に寄与することを目的とする。 所 在 地：弘前市大字文京町1番地 設置年月：平成24年10月 規 模 等：教育学部内
--	---

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

国立大学法人弘前大学 組織の移行表

平成30年度 (医学部定員増をしなかった場合)	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成30年度 (医学部定員増をした場合)	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
弘前大学				弘前大学				
人文社会科学部				人文社会科学部				
文化創生課程	110	-	440	文化創生課程	110	-	440	
社会経営課程	155	-	620	社会経営課程	155	-	620	
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	150	-	600	学校教育教員養成課程	150	-	600	
養護教諭養成課程	20	-	80	養護教諭養成課程	20	-	80	
医学部		2年次		医学部		2年次		
医学科	97	20	634	医学科	112	20	664	定員変更(15)
		3年次				3年次		
保健学科	200	30	860	保健学科	200	30	860	
理工学部		3年次		理工学部		3年次		
数物科学科	78	2	316	数物科学科	78	2	316	
物質創成化学科	52	1	210	物質創成化学科	52	1	210	
地球環境防災学科	65	2	264	地球環境防災学科	65	2	264	
電子情報工学科	55	2	224	電子情報工学科	55	2	224	
機械科学科	80	2	324	機械科学科	80	2	324	
自然エネルギー学科	30	1	122	自然エネルギー学科	30	1	122	
農学生命科学部				農学生命科学部				
生物学科	40	-	160	生物学科	40	-	160	
分子生命科学科	40	-	160	分子生命科学科	40	-	160	
食料資源学科	55	-	220	食料資源学科	55	-	220	
国際園芸農学科	50	-	200	国際園芸農学科	50	-	200	
地域環境工学科	30	-	120	地域環境工学科	30	-	120	
計	1,307	20	5,554	計	1,322	20	5,584	
		3年次				3年次		
		40				40		
弘前大学大学院				弘前大学大学院				
人文社会科学研究科				人文社会科学研究科				
文化科学専攻(M)	10	-	20	文化科学専攻(M)	10	-	20	
応用社会科学専攻(M)	6	-	12	応用社会科学専攻(M)	6	-	12	
教育学研究科				教育学研究科				
学校教育専攻(M)	16	-	32	学校教育専攻(M)	16	-	32	
教職実践専攻(P)	16		32	教職実践専攻(P)	16	-	32	
医学研究科				医学研究科				
医科学専攻(D)	60	-	240	医科学専攻(D)	60	-	240	
保健学研究科				保健学研究科				
保健学専攻(M)	30	-	60	保健学専攻(M)	30	-	60	
保健学専攻(D)	12	-	36	保健学専攻(D)	12	-	36	
理工学研究科				理工学研究科				
理工学専攻(M)	120	-	240	理工学専攻(M)	120	-	240	
機能創成科学専攻(D)	6	-	18	機能創成科学専攻(D)	6	-	18	
安全システム工学専攻(D)	6	-	18	安全システム工学専攻(D)	6	-	18	
農学生命科学研究科				農学生命科学研究科				
農学生命科学専攻(M)	60	-	120	農学生命科学専攻(M)	60	-	120	
地域社会研究科				地域社会研究科				
地域社会専攻(D)	6	-	18	地域社会専攻(D)	6	-	18	
計	348	-	846	計	348	-	846	



1

文京町地区

(事務局棟、附属図書館、人社、教育、理工、農生等)

◎JR弘前駅から 弘南バス ※約15分

JR弘前駅前(中央口)【3番のりば】「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗り、【弘前大学前】または【弘大農学生命科学部前】で下車 ※約15分

2

本町地区

(医学部医学科・保健学科、医学部附属病院等)

◎JR弘前駅から 弘南バス ※約15分

- ①土手町循環100円バス乗車【大学病院前】下車
- ②JR弘前駅前(中央口)【6番のりば】「駒越線」に乗り、【大学病院前】で下車
- ③JR弘前駅前(中央口)【8番のりば】「金属団地・桜ヶ丘線」に乗り、【本町】で下車

3

学園町地区

(附属幼稚園、小学校、中学校等)

◎JR弘前駅から 弘南バス ※約25分

JR弘前駅前(中央口)【3番のりば】「学園町線」に乗り、【学園町】で下車



青森県

弘前市

東京	東北新幹線(約3時間10分)	新青森	JR特急(約30分)
	飛行機(約1時間20分)	青森空港	弘南バス(約55分)
札幌	JR特急(約3時間30分)	新函館	JR特急(約30分)
	北海道新幹線(約1時間10分)	新青森	弘南バス(約55分)
盛岡	飛行機(約45分)	青森空港	
	高速バス ヨーデル号(約2時間15分)		
仙台	高速バス キャッスル号(約4時間20分)		

弘前大学図書館



本町団地配置図S:1/1,500

医学部医学科が使用する施設

他学部等へ共同で使用する施設

[illegible]

弘前大学学則（案）

（平成 16 年 4 月 1 日制定規則第 2 号）

目次

第 1 章 総則

第 1 節 目的、自己評価等及び情報の積極的な提供(第 1 条―第 3 条)

第 2 節 構成(第 4 条)

第 3 節 収容定員(第 5 条)

第 2 章 学部通則

第 1 節 学年、学期及び休業日(第 6 条―第 8 条)

第 2 節 修業年限(第 9 条―第 11 条)

第 3 節 教育課程及び履修方法等(第 12 条―第 20 条)

第 4 節 入学、退学、転学及び除籍(第 21 条―第 35 条)

第 5 節 休学及び留学(第 36 条―第 40 条)

第 6 節 卒業、学位及び教育職員免許状(第 41 条―第 43 条)

第 7 節 授業料(第 44 条・第 45 条)

第 8 節 科目等履修生、研究生、聴講生及び特別聴講学生(第 46 条―第 50 条)

第 9 節 学寮及び厚生施設(第 51 条―第 55 条)

第 10 節 賞罰(第 56 条・第 57 条)

第 11 節 公開講座、寄附講義、免許状更新講習及び特別の課程(第 58 条―第 61 条)

第 12 節 その他(第 62 条)

附則

第 1 章 総則

第 1 節 目的、自己評価等及び情報の積極的な提供

（目的）

第 1 条 弘前大学(以下「本学」という。)は、教育基本法(平成 18 年法律第 120 号)第 7 条の規定に基づき、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者を育成することを目的とする。

（自己評価等）

第 2 条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本学は、前項の点検及び評価の結果について、本学の職員以外の者による検証を行うよう努めるものとする。

（情報の積極的な提供）

第 3 条 本学は、本学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって積極的に情報を提供するものとする。

第 2 節 構成

（学部及び学科）

第4条 本学の学部、に、次の学科及び課程を置く。

人文社会科学部	文化創生課程
	社会経営課程
教育学部	学校教育教員養成課程
	養護教諭養成課程
医学部	医学科
	保健学科
理工学部	数物科学科
	物質創成化学科
	地球環境防災学科
	電子情報工学科
	機械科学科
	自然エネルギー学科
農学生命科学部	生物学科
	分子生命科学科
	食料資源学科
	国際園芸農学科
	地域環境工学科

2 前項の学部の教育研究組織は、別に定める。

第3節 収容定員

(収容定員)

第5条 収容定員は、別表第1のとおりとする。

第2章 学部通則

第1節 学年、学期及び休業日

(学年)

第6条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第7条 学年を分けて、次の2学期とする。

前期4月1日から9月30日まで

後期10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 開学記念日(5月31日)
- (4) 春季休業
- (5) 夏季休業
- (6) 冬季休業

(7) 学年末休業

- 2 前項第4号から第7号までに規定する休業日については、毎年度学長が定める。
- 3 第1項に定める休業日以外の臨時の休業日については、その都度学長が定める。休業日を変更する場合も同様とする。

第2節 修業年限

(修業年限)

第9条 修業年限は、4年とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、医学部医学科の修業年限は、6年とする。

第10条 科目等履修生として本学において一定の単位を修得した後に本学に入学する場合、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、その単位数等に応じて、相当期間を本学の修業年限の2分の1を超えない範囲で前条の修業年限に通算することができる。

- 2 前項の修業年限の通算については、教授会の議を経て学部長が認定する。

(在学期間)

第11条 在学期間は、8年を超えることができない。

- 2 前項の規定にかかわらず、医学部医学科の在学期間は、第1年次及び第2年次、第3年次及び第4年次並びに第5年次及び第6年次のそれぞれについて、通算して4年を超えることができない。

第3節 教育課程及び履修方法等

(授業科目の区分)

第12条 授業科目の区分は、教養教育科目及び専門教育科目とする。

(特定課題等に関するプログラム)

第12条の2 本学に、各学部等が編成する教育課程のほか、特定課題等に関する体系的な学習プログラムを置くことができる。

- 2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(修得単位及び履修方法)

第13条 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、医学部医学科の卒業に必要な単位数は、225単位以上とする。ただし、教育上必要と認められる場合には、修得すべき単位の一部の修得について、これに相当する授業時間の履修をもって代えることができる。

- 3 第12条に定める授業科目の単位数及び履修方法については、専門教育科目については各学部の教授会の議を経て、教養教育科目については教育研究評議会の議を経て、学長が定める。

(単位の計算方法)

第14条 授業科目の単位数は、1単位45時間を標準とし、授業の方法に応じ、次の基準によって計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の時間をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の時間をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、各学部教授会の議を経て学長が単位数を定める。

(他学部の授業の履修)

第15条 学生は、他学部の授業を履修することができる。その場合、所属学部長を経て当該学部長の許可を得なければならない。

(単位の授与)

第16条 学長は、授業科目を履修した者に対しては、試験のうえ、合格した者に単位を与える。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第17条 学部長は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生が当該大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学の定めるところにより60単位(授業時間の履修をもって単位の修得に代える授業科目については、これに相当する授業時間数。次条第2項及び第19条第3項において同じ。)を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、休学期間中に外国の大学又は短期大学において授業科目を履修する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

3 前2項に関して必要な事項は、各学部で定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第18条 学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前2項に関して必要な事項は、各学部で定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第19条 学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)において修得した単位(大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を教授会の議を経て、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学及び転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第17条第1項及び前条第1項により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 前3項に関して必要な事項は、各学部で定める。

(成績)

第20条 授業科目の履修成績は、秀、優、良、可、不可の評語で表わし、可以上を合格とする。

第4節 入学、退学、転学及び除籍

(入学等の許可)

第21条 入学、退学、編入学、転学及び再入学については、教授会の議を経て学長が許可する。

(入学の時期)

第22条 入学の時期は、学年の初めから30日以内とする。ただし、編入学及び再入学の場合は、この限りでない。

- 2 前項の規定にかかわらず、学年の途中においても、学期の区分に従い、入学させることができる。

(入学資格)

第23条 入学資格を有する者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) 個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると教授会の議を経て学長が認めた者で、18歳に達したもの

(入学志願)

第24条 入学を志願する者は、入学願書に別表第2に定めるところによる検定料及び別に定める書類を添えて、所定の期間内に本学に提出しなければならない。

- 2 既納の検定料は、返付しない。ただし、出願書類等による選抜(以下この項において「第1段階目の選抜」という。)を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜(以下この項において「第2段階目の選抜」という。)を行って最終合格者を決定する方法による場合で、第1段階目の選抜で不合格となった者に対しては、指定の期日までの当該者の申出により、別表第2に定める第2段階目の選抜に係る額に相当する額を返付する。
- 3 前項の規定にかかわらず、大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者については、当該者の申出により、第1項に規定する検定料のうち前項ただし書きに規定する額と同額を返付する。

(入学者の選抜)

第25条 入学者の選抜は、調査書、学力検査及びその他の能力・適性等に関する検査等により行う。

(編入学)

第26条 本学に編入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とし、選考のうえ、学長が許可する。

- (1) 大学を卒業した者

- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
 - (3) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者
 - (4) 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者
 - (5) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者
 - (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者
 - (7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年以上の課程を修了した者
 - (8) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (9) その他前各号に定める者と同等以上の学力があると教授会の議を経て学部長が認めた者
- 2 前項の規定による編入学のほか、本学に編入学を志願する者があるときは、定員に欠員がある場合に限り、選考のうえ、学長が許可する。
 - 3 編入学に際しては、第24条(第2項ただし書を除く。)、第25条、第29条及び第31条の規定を準用する。
 - 4 編入学を許可された者の既修得単位の取扱い及び在学期間の通算については、教授会の議を経て、学部長が認定する。

(転学)

第27条 本学に転学を志願する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考のうえ、学長が許可する。

- 2 転学に際しては、前条第3項及び第4項の規定を準用する。

(再入学)

第28条 第32条の規定により、いったん退学した者又は第35条第3号若しくは第4号の規定により除籍された者で、再入学を願い出た者があるときは、選考のうえ、学長が許可する。

- 2 再入学に際しては、第26条第3項及び第4項の規定を準用する。
- 3 前項に定めるもののほか、再入学に関し必要な事項は、別に定める。

(入学手続)

第29条 入学者として選抜された者は、指定の期日までに所定の書類を提出するとともに、別表第2に定めるところによる入学料を納付しなければならない。

- 2 既納の入学料は、いかなる事情があつても返付しない。
- 3 入学の許可は、第1項の手続を完了した者に対して行う。

(入学料の免除又は徴収猶予)

第30条 学長は、特別な事情により入学料の納付が著しく困難な学生及び経済的理由によつて入学料の納付期限までに納付が困難な学生に対し、別に定めるところにより、入学料の全部又は一部を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

(入学許可の取消し)

第31条 学長は、第29条第1項の提出書類に虚偽又は不正があつた場合には、入学を取消す。

(退学, 転学)

第 32 条 退学又は他の学校に転学あるいは入学しようとする者は、理由を明記して学長に願い出なければならない。

(転学部)

第 33 条 学内で、他の学部に転じようとする者があるときは、転出及び転入する学部の教授会の議を経て、学長が許可する。

(転学科)

第 34 条 学部内で、他の学科に転じようとする者があるときは、教授会の議を経て、学部長が許可する。

(除籍)

第 35 条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

- (1) 第 11 条に定める在学期間を超える者
- (2) 第 38 条第 2 項に定める休学期間を超えてもなお修学できない者
- (3) 授業料の納付を怠り、督促を受けてもなお納付しない者
- (4) 入学料の免除を申請し、不許可になった者又は半額免除を許可された者並びに入学料の徴収猶予を申請し、許可された者で、指定の期日まで納付すべき入学料を納付しない者
- (5) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第 5 節 休学及び留学

(長期欠席)

第 36 条 病気その他の理由により、引き続き 1 か月以上欠席しようとする者は、期間及び理由を明記して当該学部長に願い出なければならない。

2 前項の欠席理由が病気による場合には、医師の診断書を添えなければならない。

(休学)

第 37 条 病気その他の理由により、引き続き 3 か月以上出席することができない者は、願い出により当該学部長の許可を得て休学することができる。

2 前項の休学理由が病気による場合には、医師の診断書を添えなければならない。

3 欠席が 3 か月以上にわたるときは、当該学部長は休学を命ずることがある。

(休学期間)

第 38 条 休学の期間は、1 年以内とする。ただし、特別の事情がある者は、願い出により当該学部長の許可を得て、引き続き休学することができる。

2 休学期間は、通算してその学部の修業年限を超えることができない。

3 休学期間は、在学期間に算入しない。

(復学)

第 39 条 学部長は、休学を許可された期間内であっても、その理由が消滅したときは、願い出により復学を許可することができる。

(留学)

第 40 条 学長は、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て外国の大学との協議に基づき、学生を当該大学に留学させることができる。

2 前項の規定により留学した場合には、第 17 条の規定を準用する。

3 留学した期間は、第 9 条の修業年限に算入する。

第 6 節 卒業、学位及び教育職員免許状

(卒業)

第41条 本学に4年以上在学し、所定の単位を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

2 前項の規定にかかわらず、医学部医学科にあつては、本学に6年以上在学し、所定の単位を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

(学位)

第42条 学長は、前条により卒業を認定された者には、弘前大学学位規則(平成16年規則第4号)の定めるところにより、学士の学位を授与する。

(教育職員免許状)

第43条 本学において、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び同法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に規定する所定の単位を修得したときに取得できる教育職員免許状の種類、教科は、各学部の手定めるところによる。

第7節 授業料

(授業料)

第44条 授業料は、別表第2の定めるところによる額とし、年額の2分の1に相当する額を、それぞれ次の2期に納付しなければならない。

前期 4月

後期 10月

2 前項の規定にかかわらず、学生の手出により、前期に係る授業料を納付するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて納付することができる。

3 入学年度の手前期又は前期及び後期に係る授業料については、第1項の規定にかかわらず、入学を許可される者の手出により、入学を許可するときに納付することができる。

4 既納の授業料は、返付しない。ただし、次の各号に該当する場合は、当該授業料を納付した者の手出により、当該授業料相当額を返付する。

(1) 第2項の規定により授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期前に休学又は退学した場合

(2) 前項の規定により授業料を納付した者が、入学年度の手年度の3月31日までに入学を辞退した場合

(授業料の免除又は徴収猶予)

第45条 学長は、経済的理由によつて授業料の納付が困難な学生に対し、別に定めるところにより、授業料の全部又は一部を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

2 前項の規定にかかわらず、各部局長の手申請に基づき、学長が授業料を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

第8節 科目等履修生、研究生、聴講生及び特別聴講学生

(科目等履修生)

第46条 本学学生以外の者で一又は複数の授業科目を履修しようとする者があるときは、教授会の議を経て、学長は科目等履修生として入学を許可する。

2 科目等履修生として入学できる者は、第23条に定められた資格を有する者で、所定の試験に合格した者とする。

- 3 科目等履修生として入学しようとする者は、所定の期日までに科目等履修生入学願書に履歴書、検定料及び別に指定する書類を添えて、当該学部長を経て学長に提出しなければならない。
- 4 入学の時期は、学年又は学期の初めとする。
- 5 検定料、入学料及び授業料の額は、別表第2に定めるところによる。
- 6 科目等履修生として選抜された者は、指定の期間内に入学料を納付しなければならない。
- 7 授業料は、第44条第1項から第3項までの規定に準じて納付しなければならない。
- 8 既納の検定料、入学料及び授業料は、返付しない。ただし、授業料については、第44条第4項の規定を準用する。
- 9 履修した授業科目について、試験を受け合格した者には、所定の単位を与え、当該学部長が単位修得証明書を交付する。

(研究生)

- 第47条 本学教員の指導を受けて特定の専門分野を研究しようとする者があるときは、教授会の議を経て、学長は研究生として入学を許可する。
- 2 研究生の入学資格は、教授会が、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者とする。
 - 3 研究生として入学しようとする者は、研究生入学願書、履歴書、検定料及び別に指定する書類を添えて、当該学部長を経て学長に提出しなければならない。
 - 4 入学の時期は、学年又は学期の初めとする。
 - 5 検定料、入学料及び授業料の額は、別表第2に定めるところによる。
 - 6 研究生として選抜された者は、指定の期間内に入学料を納付しなければならない。
 - 7 授業料は、第44条第1項から第3項の規定に準じて納付しなければならない。
 - 8 既納の検定料、入学料及び授業料は、返付しない。ただし、授業料については、第44条第4項の規定を準用する。
 - 9 研究生には、願い出により、当該学部長が、その研究事項につき証明書を交付する。

(聴講生)

- 第48条 本学の授業を聴講しようとする者があるときは、教授会の議を経て、学長は聴講生として入学を許可する。
- 2 聴講生として入学できる者は、第23条に定められた資格を有する者で、所定の試験に合格した者とする。
 - 3 聴講生として、入学しようとする者は、所定の期日までに聴講生入学願書、履歴書、検定料及び別に指定する書類を添えて、当該学部長を経て学長に提出しなければならない。
 - 4 入学の時期は、学年又は学期の初めとする。
 - 5 検定料、入学料及び授業料の額は、別表第2に定めるところによる。
 - 6 聴講生として選抜された者は、指定の期間内に入学料を納入しなければならない。
 - 7 授業料は、第44条第1項から第3項の規定に準じて納付しなければならない。
 - 8 既納の検定料、入学料及び授業料は、返付しない。ただし、授業料については、第44条第4項の規定を準用する。
 - 9 聴講生には、願い出により、当該学部長が、その聴講事項につき証明書を交付する。

(特別聴講学生)

第 49 条 他の大学若しくは外国の大学又は高等専門学校で、本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、当該大学又は高等専門学校との協議に基づき、教授会の議を経て、学長は特別聴講学生として入学を許可することができる。

(その他の定め)

第 50 条 科目等履修生、研究生、聴講生及び特別聴講学生については、この規則に定めるもののほか別に定める。

第 9 節 学寮及び厚生施設

(学寮及び厚生施設)

第 51 条 本学に学寮及び厚生施設を置く。

2 学寮及び厚生施設に関し必要な事項は、別に定める。

第 52 条から第 55 条まで 削除

第 10 節 賞罰

(表彰)

第 56 条 学生として表彰に値する行為があるときは、学部長の申出により、学長が表彰する。

(懲戒)

第 57 条 本学の規則等に違反し、又は学生の本分を守らない者があるときは、学部長の申出により学長が懲戒する。

2 懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

第 11 節 公開講座、寄附講義、免許状更新講習及び特別の課程

(公開講座)

第 58 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を設けることができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

(高大連携公開講座)

第 58 条の 2 本学に高等学校と連携して行う公開講座(次項において「高大連携公開講座」という。)を設けることができる。

2 高大連携公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

(寄附講義)

第 59 条 本学の学部又は学科に、民間等からの寄附金又は講義担当者の派遣による寄附講義を開設することができる。

2 寄附講義に関し必要な事項は、別に定める。

(免許状更新講習)

第 60 条 本学に教育職員免許法(昭和 24 年法律第 147 号)第 9 条の 3 の規定に基づく免許状更新講習を開設することができる。

2 免許状更新講習に関し必要な事項は、教育学部が別に定める。

(特別の課程)

第 61 条 学長は、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 105 条に規定する特別の課程として本学の学生以外の者を対象とした履修証明プログラムを編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を交付することができる。

2 履修証明プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

第 12 節 その他

(学則等の改廃)

第62条 この学則を改廃するときは、役員会の議を経なければならない。

2 この学則に基づき、各学部で定める事項は、教育研究評議会の議を経るものとする。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 廃止前の弘前大学学則(昭和40年規則第3号)は、この規則の施行にかかわらず、平成16年3月31日に本学に在学する者(以下この項において「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転学又は再入学する者が本学に在学しなくなる日までの間、なおその効力を有する。

附 則

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 改正後の別表第1の規定にかかわらず、平成17年度から平成19年度までの人文学部及び本学の収容定員は、次のとおりとする。

学部	課程	平成17年度	平成18年度	平成19年度
人文学部	人間文化課程	436	444	452
	現代社会課程	110	220	330
	経済経営課程	120	240	360

合計		平成17年度	平成18年度	平成19年度
		5,006	5,244	5,482

3 改正後の第4条の規定にかかわらず、人文学部の情報マネジメント課程及び社会システム課程は、平成17年3月31日に当該課程に在学する者が当該課程に在学しなくなる日までの間存続するものとし、平成17年度から平成19年度までの当該課程の収容定員は、次のとおりとする。

学部	課程	平成17年度	平成18年度	平成19年度
人文学部	情報マネジメント課程	378	252	126
	社会システム課程	336	224	112

附 則

この規則は、平成17年4月18日から施行し、改正後の規定は、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成17年6月20日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年12月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、平成 18 年度から平成 20 年度までの理工学部及び本学の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
理工学部	数理科学科	40	80	120
	物理科学科	40	80	120
	物質創成化学科	46	92	138
	地球環境学科	238	236	234
	電子情報工学科	58	116	174
	知能機械工学科	58	116	174
	学部共通	20	20	20

合計		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
		5,000	5,240	5,480

- 3 改正後の第 4 条の規定にかかわらず、理工学部の数理システム科学科、物質理工学科、電子情報システム工学科及び知能機械システム工学科は、平成 18 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間存続するものとし、平成 18 年度から平成 20 年度までの当該学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
理工学部	数理システム科学科	120	80	40
	物質理工学科	240	160	80
	電子情報システム工学科	180	120	60
	知能機械システム工学科	180	120	60

- 4 医学部医学科の平成 17 年度以前の入学者及び平成 17 年度以前の入学者の属する年次に編入学、転学又は再入学する者については、改正後の第 13 条第 2 項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 1 条の改正規定は、平成 19 年 2 月 19 日から施行し、改正後の第 1 条の規定は、平成 18 年 12 月 22 日から適用する。
- 2 平成 18 年度以前の入学者及び平成 18 年度以前の入学者の属する年次に編入学、転学又は再入学する者については、改正後の第 20 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 改正後の別表第1の規定にかかわらず，平成20年度から平成22年度までの農学生命科学部の収容定員並びに平成20年度から平成24年度までの医学部医学科及び本学の収容定員は，次のとおりとする。

なお，医学部医学科における10名の入学定員増については平成29年度入学者までとする。

学部	学科	平成20年度	平成21年度	平成22年度
農学生命科学部	生物学科	40	80	120
	分子生命科学科	40	80	120
	生物資源学科	35	70	105
	園芸農学科	40	80	120
	地域環境工学科	30	60	90

学部	学科	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
医学部	医学科	570	580	590	600	610

大学	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
合計	5,175	5,370	5,565	5,760	5,770

- 3 改正後の第4条の規定にかかわらず，農学生命科学部の生物機能科学科，応用生命工学科，生物生産科学科及び地域環境科学科は，平成20年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間存続するものとし，平成20年度から平成22年度までの当該学科の収容定員は，次のとおりとする。

学部	学科	平成20年度	平成21年度	平成22年度
農学生命科学部	生物機能科学科	120	80	40
	応用生命工学科	150	100	50
	生物生産科学科	165	110	55
	地域環境科学科	120	80	40

附 則

この規則は，平成20年12月22日から施行し，改正後の規定は，平成20年4月1日から適用する。

附 則

この規則は，平成21年2月9日から施行する。

附 則

- この規則は，平成21年4月1日から施行する。
- 改正後の別表第1の規定にかかわらず，平成21年度から平成25年度までの医学部医学科及び本学の収容定員は，次のとおりとする。

学部	学科	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
医学部	医学科	590	610	630	650	670

合計		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
		5,750	5,770	5,790	5,810	5,830

附 則

- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、平成 22 年度における 3 年次編入学定員の医学部医学科の欄については、20 名とする。
- 3 改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、平成 22 年度から平成 26 年度までの医学部医学科及び本学の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
医学部	医学科	635	660	685	710	725

合計		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
		5,795	5,820	5,845	5,870	5,885

附 則(平成 22 年 7 月 26 日規則第 11 号)

この規則は、平成 22 年 7 月 26 日から施行する。

附 則(平成 22 年 9 月 28 日規則第 14 号)

この規則は、平成 22 年 9 月 28 日から施行する。

附 則(平成 23 年 9 月 28 日規則第 5 号)

この規則は、平成 23 年 9 月 28 日から施行する。

附 則(平成 24 年 2 月 24 日規則第 4 号)

この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 25 年 2 月 20 日規則第 1 号)

- 1 この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、平成 25 年度から平成 29 年度までの医学部医学科及び本学の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
医学部	医学科	712	729	736	738	740

合計		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
		5,872	5,889	5,896	5,898	5,900

附 則(平成 25 年 10 月 1 日規則第 10 号)

この規則は、平成 25 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 26 年 2 月 14 日規則第 3 号)

- 1 この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、平成 26 年度から平成 30 年度までの医学部医学科及び本学の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
医学部	医学科	734	746	753	760	767

合計		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
		5,894	5,906	5,913	5,920	5,927

- 3 平成 25 年度以前の入学者及び平成 25 年度以前の入学者の属する年次に編入学、転学又は再入学する者については、改正後の第 13 条第 2 項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則(平成 27 年 3 月 20 日規則第 6 号)

この規則は、平成 27 年 3 月 20 日から施行する。

附 則(平成 27 年 9 月 14 日規則第 16 号)

この規則は、平成 27 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 12 月 14 日規則第 29 号)

- 1 この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 27 年度以前の入学者及び平成 27 年度以前の入学者の属する年次に編入学、転学又は再入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則(平成 28 年 1 月 27 日規則第 2 号)

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、改正後の第 24 条第 3 項の規定は、平成 28 年 1 月 27 日から施行する。

附 則(平成 28 年 3 月 18 日規則第 7 号)

- 1 この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 改正後の別表第1の規定にかかわらず、平成28年度から平成30年度までの人文学部、教育学部、理工学部及び農学生命科学部の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科・課程	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人文社会科学部	文化創生課程	110	220	330
	社会経営課程	155	310	465
教育学部	学校教育教員養成課程	585	590	595
	養護教諭養成課程	95	90	85
理工学部	数物科学科	78	156	236
	物質創成化学科	190	196	203
	地球環境防災学科	65	130	197
	電子情報工学科	229	226	225
	機械科学科	80	160	242
	自然エネルギー学科	30	60	91
農学生命科学部	食料資源学科	55	110	165
	国際園芸農学科	50	100	150

- 3 改正後の第4条の規定にかかわらず、人文学部の人間文化課程、現代社会課程及び経済経営課程、教育学部の生涯教育課程、理工学部の数理科学科、物理科学科、地球環境学科及び知能機械工学科並びに農学生命科学部の生物資源学科及び園芸農学科は、平成28年3月31日に当該学科及び課程に在学する者が当該学科及び課程に在学しなくなる日までの間存続するものとし、平成28年度から平成30年度までの当該学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科・課程	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人文学部	人間文化課程	345	230	115
	現代社会課程	330	220	110
	経済経営課程	360	240	120
教育学部	生涯教育課程	210	140	70
理工学部	数理科学科	120	80	40
	物理科学科	120	80	40
	地球環境学科	174	116	58
	知能機械工学科	174	116	58
	学部共通	20	20	10
農学生命科学部	生物資源学科	105	70	35
	園芸農学科	120	80	40

附 則(平成28年6月17日規則第15号)

この規則は、平成28年6月17日から施行し、改正後の規定は、平成28年4月1日から適用する。

附 則(平成 28 年 7 月 15 日規則第 17 号)

この規則は、平成 28 年 7 月 15 日から施行する。

附 則(平成 28 年 9 月 28 日規則第 22 号)

この規則は、平成 28 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 29 年 1 月 13 日規則第 1 号)

この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 29 年 2 月 22 日規則第 3 号)

- 1 この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年度以前の入学者及び平成 28 年度以前の入学者の属する年次に編入学、転学又は再入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則(平成 年 月 日規則第 号)

- 1 この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、平成 30 年度及び平成 31 年度の医学部医学科の入学生定員は、112 名とする。
- 3 改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 36 年度までの医学部医学科及び本学の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度
医学部	医学科	767	772	745	718	691	664	637

合計		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度
		5,747	5,692	5,665	5,638	5,611	5,584	5,557

別表第 1(第 5 条関係)

学部	学科・課程	入学定員	第 2 年次 編入学定員	第 3 年次 編入学定員	収容定員
人文社会科学部	文化創生課程	110			440
	社会経営課程	155			620
教育学部	学校教育教員養成課程	150			600
	養護教諭養成課程	20			80
医学部	医学科	85	20		610

	保健学科				
	看護学専攻	80		10	340
	放射線技術科学専攻	40		5	170
	検査技術科学専攻	40		5	170
	理学療法学専攻	20		5	90
	作業療法学専攻	20		5	90
理工学部	数物科学科	78		2	316
	物質創成化学科	52		1	210
	地球環境防災学科	65		2	264
	電子情報工学科	55		2	224
	機械科学科	80		2	324
	自然エネルギー学科	30		1	122
農学生命科学部	生物学科	40			160
	分子生命科学科	40			160
	食料資源学科	55			220
	国際園芸農学科	50			200
	地域環境工学科	30			120
合計		1,295	20	40	5,530

別表第2

学部等における検定料，入学料及び授業料

区分	検定料	入学料	授業料
学部	円 17,000	円 282,000	年額 円 535,800
科目等履修生	円 9,800	円 28,200	1単位あたり 14,800
研究生	円 9,800	円 84,600	月額 29,700
聴講生	円 9,800	円 28,200	1単位あたり 14,800

備考

- 第24条第2項に規定する第1段階目の選抜及び第2段階目の選抜に係る検定料の額は、第1段階目の選抜にあつては4,000円、第2段階目の選抜にあつては13,000円とする。

- 2 第 26 条から第 28 条に規定する編入学，転学及び再入学に係る検定料の額は，30,000 円とする。
- 3 平成 10 年度以前の入学者に係る授業料の額は，上記の表に定める額にかかわらず，入学時の授業料の額とする。

弘前大学学則の一部改正（案）について

1. 趣旨

平成 30 年度から平成 31 年度までの医学部医学科入学定員について，15 名の入学定員増員を行うことに伴い，所要の改正を行う。

2. 概要

平成 30 年度から平成 31 年度までの医学部医学科の入学定員を 15 名増加することに伴う改正のほか，入学定員を 112 名から 85 名に，収容定員を 772 名から 610 名に改める。

3. 施行日

平成 30 年 4 月 1 日施行

改正後					現 行																																							
第1章 総則																																												
第3節 収容定員(第5条)																																												
(収容定員)																																												
第5条 収容定員は、別表第1のとおりとする。																																												
附 則																																												
1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。																																												
2 改正後の別表第1の規定にかかわらず、平成30年度及び平成31年度の医学部医学科の入学定員は、112名とする。																																												
3 改正後の別表第1の規定にかかわらず、平成30年度から平成36年度までの医学部医学科及び本学の収容定員は、次のとおりとする。																																												
<table><tr><th>学部</th><th>学科</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>平成32年度</th><th>平成33年度</th><th>平成34年度</th><th>平成35年度</th><th>平成36年度</th></tr><tr><td>医学部</td><td>医学科</td><td>767</td><td>772</td><td>745</td><td>718</td><td>691</td><td>664</td><td>637</td></tr></table>					学部	学科	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	医学部	医学科	767	772	745	718	691	664	637																						
学部	学科	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度																																				
医学部	医学科	767	772	745	718	691	664	637																																				
<table><tr><th>合計</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>平成32年度</th><th>平成33年度</th><th>平成34年度</th><th>平成35年度</th><th>平成36年度</th></tr><tr><td></td><td>5,747</td><td>5,692</td><td>5,665</td><td>5,638</td><td>5,611</td><td>5,584</td><td>5,557</td></tr></table>					合計	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度		5,747	5,692	5,665	5,638	5,611	5,584	5,557																								
合計	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度																																					
	5,747	5,692	5,665	5,638	5,611	5,584	5,557																																					
別表第1(第5条関係)																																												
<table><tr><th>学部</th><th>学科・課程</th><th>入学定員</th><th>第2年次編入学定員</th><th>第3年次編入学定員</th><th>収容定員</th></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td rowspan="2">医学部</td><td>医学科</td><td>85</td><td>20</td><td></td><td>610</td></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>1,295</td><td>20</td><td>40</td><td>5,530</td></tr></table>					学部	学科・課程	入学定員	第2年次編入学定員	第3年次編入学定員	収容定員	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	医学部	医学科	85	20		610	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	合計		1,295	20	40	5,530	(削る)				
学部	学科・課程	入学定員	第2年次編入学定員	第3年次編入学定員	収容定員																																							
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																							
医学部	医学科	85	20		610																																							
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																							
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																							
合計		1,295	20	40	5,530																																							

別表第1(第5条関係)					
学部	学科・課程	入学定員	第2年次編入学定員	第3年次編入学定員	収容定員
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
医学部	医学科	112	20		772
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
合計		1,322	20	40	5,692

※ 医学部医学科における入学定員112名のうち15名は平成29年度、12名は平成31年度までの措置。

収容定員の変更の趣旨

1. 収容定員変更の内容

医学部医学科の入学定員及び収容定員を次のとおり変更する。

[変更前]

学 部	学 科	入学定員	第2年次 編入学定員	収容定員
医学部	医学科	97	20	634

※入学定員は平成 30 年度、収容定員は平成 35 年度の再度定員を増加しない場合の定員数。

[変更後]

学 部	学 科	入学定員	第2年次 編入学定員	収容定員
医学部	医学科	112	20	664

※入学定員は平成 30 年度、収容定員は平成 35 年度の再度定員を増加した場合の定員数。

2. 収容定員変更の必要性

現在の医療を取り巻く環境の変化や社会経済状況の変化に伴い、医師の不足・地域偏在は依然として大きな問題であり、へき地を含む地域での医師の確保は極めて困難なものとなっている。

本学が位置する青森県は全国でも医師の不足が特に深刻であると認められたことから、重点的に医学部定員の暫定増員を行ってきたところであるが、依然として医師の不足は深刻な状態が続いている。

よって、これまでに実施された重点的な医学部定員増措置を継続し、より一層県内の医師確保対策を推進する必要がある。

3. これまでの定員枠の推移

- (1) 平成 20 年度に「新医師確保総合対策」に基づいて推薦入学定員を 10 名増やし、これを全て青森県内枠に充てて 30 名に拡大する一方、第 3 年次編入学（学士入学）（平成 22 年度に第 2 年次後期編入学に変更。）においても、入学定員 20 名のうち 5 名を青森県内枠として設定した。

- (2) 平成 21 年度に「緊急医師確保対策」及び「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき、一般選抜（前期日程）に、新たに青森県定着枠を設定し、10 名分の定員増を行った。また、推薦入学選抜を特別選抜（A0 入試）に変更した。従来の全国枠 10 名分を含み全定員 40 名を地域指定枠（うち 25 名を青森県内枠）へ組み替え、青森県への定着枠数の 10 名分増の設定を行った。
- (3) 平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき、一般選抜（前期日程）青森県定着枠定員を 5 名増やした。
- (4) 平成 25 年度に「地域の医師確保対策 2012」に基づき、一般選抜（前期日程）青森県定着枠定員を 2 名増やした。この定員枠の拡大は、青森県に定着する医師の人材確保において、全国からその意志と資質をもつ人材をより多く募ることにつながり、よりよい人材確保を可能とした。なお、この定員枠は平成 26 年度より A0 入試の募集人員に移行した。
- (5) 平成 26 年度に「地域の医師確保等の観点」に基づき、一般選抜（前期日程）青森県定着枠定員を 5 名増やした。
- (6) 平成 27 年度に一般選抜（前期日程）青森県定着枠定員 5 名を A0 入試の募集人員（地域枠 2 名、青森県内枠 3 名）に振り替えた。また、第 2 年次後期編入学（学士入学）を第 2 年次前期編入学に変更した。
- (7) 平成 28 年度に一般選抜（前期日程）青森県定着枠定員 3 名を A0 入試の募集人員（地域枠 3 名）に振り替えた。

平成 30 年度
医学部入学定員増員計画

弘大院医第 1121 号
平成 29 年 7 月 19 日

文部科学省高等教育局長 殿

弘前大学長 佐 藤 敬



「地域の医師確保等の観点からの平成 30 年度医学部入学定員の増加について（平成 29 年 7 月 10 日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	医学研究科事務長・長 澤 淳
	TEL	0172-39-5201
	FAX	0172-39-5209
	E-mail	jm5201@hirosaki-u.ac.jp

1. 現在（平成 29 年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2 年次編入学定員	3 年次編入学定員	収容定員
1 1 2 名	2 0 名	名	7 6 0 名

（収容定員計算用）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
(ア)入学定員	105	107	112	112	112	112	660
(イ)2年次編入学定員	20	20	20	20	20	—	100
(ウ)3年次編入学定員							

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の平成 30 年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2 年次編入学定員	3 年次編入学定員	収容定員
9 7 名	2 0 名	名	6 3 4 名

（収容定員計算用）

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計
(ア)入学定員	97	97	85	85	85	85	534
(イ)2年次編入学定員	20	20	20	20	20	—	100
(ウ)3年次編入学定員							

3. 平成 30 年度の増員計画

入学定員	2 年次編入学定員	3 年次編入学定員	収容定員
1 1 2 名	2 0 名	名	6 6 4 名

（収容定員計算用）

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	計
(ア)入学定員	112	112	85	85	85	85	564
(イ)2年次編入学定員	20	20	20	20	20	—	100
(ウ)3年次編入学定員							

↓ 内訳

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増 1 5 名

ア. 対象都道府県名及び増員数

大学が所在する都道府県	(都道府県名)	1 5 名
-------------	---------	-------

大学所在地以外の都道府県	(都道府県名)	0 名
--------------	---------	-----

(2) (1) のうち平成 29 年度で終了する医学部入学定員の暫定措置の延長に係る入学定員／編入学定員増 1 5 名

ア. 対象都道府県名及び増員数

大学が所在する都道府県	(都道府県名)	1 5 名
-------------	---------	-------

大学所在地以外の都道府県	(都道府県名)	名
--------------	---------	---

(3) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増 ____名

ア. 連携する大学

(4) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例 ____名

ア. 歯学部の削減人数 ____名

(歯学部入学定員：29年度 ____名→30年度 ____名)

* 編入学定員の削減の場合はその旨付記して下さい。

4. 地域の医師確保のための入学定員増について

①大学が講ずる措置	通知2(1)記載の「大学が講ずる措置」に係るこれまでの取組について記入して下さい。 平成18年度 ○一般入試制度（後期日程）から5名を振り替えて推薦入試制度の募集人員を25名に増員し、うち15名を青森県内枠（新設）とした。 平成19年度 ○一般入試制度（後期日程）から5名を振り替えて推薦入学制度の募集人員を30名に増員し、うち20名を青森県内枠とした。 平成20年度 ○推薦入学制度の募集人員を40名に増員し、うち30名を青森県内枠とした。 ○学士編入学制度の募集人員20名のうち、5名を青森県内枠（新設）とした。 平成21年度 ○一般入試制度（前期日程）の募集人員を60名に増員し、うち10名を青森県定着枠（新設）とした。 ○推薦入学制度を特別選抜制度（AO入試）に変更して募集人員40名を地域指定枠とし、うち25名を青森県内枠とした。 平成22年度 ○一般入試制度（前期日程）の募集人員を65名に増員し、うち15名を青森県定着枠とした。 ○学士編入学の時期を、第3年次前期から第2年次後期に変更した。
------------------	--

	平成 2 5 年度 ○一般入試制度（前期日程）の募集人員を 6 7 名に増員し，うち 1 7 名を青森県定着枠とした。 平成 2 6 年度 ○一般入試制度（前期日程）の募集人員を 7 0 名に増員し，うち 2 0 名を青森県定着枠とした。 ○A O 入試の募集人員を 4 2 名に増員し，うち 2 7 名を青森県内枠とした。 平成 2 7 年度 ○一般入試制度（前期日程）の青森県定着枠から 5 名を振り替えて A O 入試の募集人員を 4 7 名に増員し，うち 3 0 名を青森県内枠とした。 ○学士編入学の時期を，第 2 年次後期から第 2 年次前期に変更した。 平成 2 8 年度 ○一般入試制度（前期日程）の青森県定着枠から 3 名を振り替えて A O 入試の募集人員を 5 0 名に増員した。 通知 2 (1) 記載の「大学が講ずる措置」に係る平成 30 年度以降の取組について具体的に記入して下さい。 入学定員増 1 5 名については，一般入試制度（前期日程）の青森県定着枠として募集する。
② 地域医療を担う医師の養成に関する取組	①のほか、地域枠の学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からこれまでの取組について記入して下さい。 ○地域医療に係るカリキュラムの充実 （学年次の習熟度や興味度に応じた科目を設定） 1 年次： 地域に密着した講義科目「臨床医学入門」において，地域医療の現状や方言文化等に関する講義や地元の福祉施設等で介護・介助に関する早期体験実習（アーリー・エクスポージャー）を行い，学習の初期段階から地域医療の重要性及び地域への愛着心を育てる授業を行っている。 2 年次～ 3 年次： 地域医療に関する講義科目「地域医療入門」において，地域の中核病院の研修担当者及びへき地医療を実践している医師による講義を実施し

ている。また、「社会医学実習」科目において地域社会（コミュニティ現場）での保健活動体験を行っている。

4年次：

社会医学分野における基礎知識，方法論，応用手段を学ぶため「地域医療学」科目を設定し，青森県における地域医療の歴史や医療現場の現状と課題，患者とのコミュニケーションに不可欠な方言等の授業を行った。（平成28年度まで）

5年次：

診療参加型実習として「臨床実習Ⅰ」（学内BSL）科目を設定し，附属病院の各診療科において診療チームの一員として実習を行っている。

6年次：

診療参加型実習として「臨床実習Ⅱ」（クリニカル・クラークシップ）科目を設定し，附属病院をはじめ20の学外教育病院において，3クール（12週間）の実習を行っている。更に，12の学外教育病院（へき地医療機関）においては1クール（4週間）の実習を義務化して，医療過疎地域での積極的な診療を体験させている。

○地域医療に特化した寄附講座の開設

「地域医療学講座」，「大館・北秋田地域医療推進学講座」，「地域総合診療医学推進学講座」，「地域救急医療学講座」，「総合地域医療推進学講座」を開設し，地域循環型総合診療医養成システムの構築及び実証の教育・研究をはじめ，周産期医療，障害児者医療，救急医療従事者の人材養成を行っている。また，地域の医療において重要な疾患に関する臨床的・基礎的研究を推進し，その研究成果を地域医療の場で実践している。

○地域医療機関との連携

地域の医療現場の実際について講義を行い，地域医療の将来を担う人材育成と理解向上を図るとともに，地域医療機関との連携を更に強化することを目的として，臨床教授・臨床准教授の任命制度を導入している。

○「弘前大学専門医養成病院ネットワーク」の構築

地域医療機関と連携・協力し，学部教育から臨床実践へ，更に専門医養成までの一貫した人材育成の教育体制を整備している。

○「後期研修プログラム合同説明会」の開催

本学医学部附属病院の各診療科が地域医療機関に赴き，それぞれの研修プログラムについて詳細な説明を行って研修医の確保に努めている。

	上記の観点から平成 30 年度以降新たに行おうとする（又は拡充しようとする）取組について記入して下さい。 ○臨床実習の充実 「臨床実習Ⅰ」及び「臨床実習Ⅱ」の実習時間数を、現行の 64 週から 72 週に、8 週間増やすことを検討している。この増加する期間を、地域医療機関への臨床実習に充てることが選択可能となり、地域医療に関する研修内容も一層充実することが期待される。
③ 都道府県等との連携	通知 2 (2) 記載の「都道府県が講ずる措置」について、奨学金の設定主体及び支給額（月額及び卒業までの総支給額）、返還免除の条件、支給対象及び在学中の学生に対する都道府県の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等について具体的に記入して下さい。 また、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第 64 号）第 4 条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。 ○「医師修学資金制度」 設定主体：青森県・青森県国民健康保険団体連合会 支給対象：原則として青森県出身者 選抜方法：書類審査及び面接 1) 特別枠 支 給 額：入学料＋授業料＋入学一時金＋奨学金（月額 10 万円） 総支給額：10,796,800 円 返還免除の条件：卒業後、「青森県地域医療支援センター」に登録し、支援期間の 1.5 倍の年数、指定医療機関に医師として勤務すること。 2) 一般枠 支 給 額：入学料＋授業料 総支給額：3,496,800 円 返還免除の条件：卒業後、支援期間と同年数、指定医療機関に医師として勤務すること。 ○在学中の学生に対する都道府県の相談・指導、卒後キャリアパス形成等 1) 青森県が中心となって医師修学資金貸与学生に対して定期的に面談を行い、地域医療機関についての質問・相談に応じている。卒業後は、青森県地域医療支援センターが中心となってスキルアップやキャリアパス

等の指導・助言を行っている。特に修学資金の特別枠貸与者については勤務プログラムを作成し、卒業後のフォローアップ体制を整備している。

2) 医師を志して入学したばかりの1年次学生と、地域医療現場での実習を開始する5年次学生に対し、青森県知事との懇談会を毎年開催している。県の首長が、青森県の医療の実情や県民が医学生に向ける期待の大きさ、県が取り組んでいる医師養成や医療政策などについて、県担当職員も交えて熱く語る会となっている。学生が県知事及び県担当職員を通して青森県の医療行政を知る機会が増えることにより、学生が地域医療の重要性や意義を県民側からの声として感じ、卒業後に青森県で医療に従事する動機付けとなることを期待している。

3) 青森県が主催する弘前大学医学生地域医療早期体験実習により、早い段階から卒後キャリアパスの意識づけの構築を行っている。

・弘前大学医学生地域医療早期体験実習

内容：弘前大学医学部医学科2年次生～4年次生の希望者を対象として、夏季休業期間中の連続した3日間をへき地の医療施設で実習体験を行うプログラム。旅費と宿泊費は県と医療施設が支援するため、学生の経済的負担はない。

4) 青森県医師会では、「医学生・研修生のためのキャリアサポートセミナー」を主催し、本学医学部及び附属病院も協力している。また、女性医師のライフワークも含めたキャリアサポート体制の整備にも取り組んでいる。

○本学医学部が行っている在学生への相談・指導、卒後キャリアパス形成等

1) 附属病院を中心として自治体病院との間に専門医養成病院ネットワークを構築し、地域循環型の医師養成体制の整備充実を図っている。

2) 本学医学部と自治体病院との間に連絡協議会、下北医療センターとの間には運営懇談会を設け、定期的に情報交換を行っている。

3) 青森県定着枠の学生に対して入学当初の意思や在学中の学習姿勢、卒業後の地域医療に対する心構えなどを、レポートとして毎年提出させている。

4) 5年次以上の全学生に対して、地域医療の重要性と地域からの期待度の高さを周知するために面談を実施している。特に6年次学生には、医師臨床研修マッチング前にキャリアパスの相談も含めて実施している。

5) 幹部教職員により「地域定着枠学生支援委員会」を組織し、特に地域定着枠卒業生のキャリアアップを含めた総合的な支援を行っている。

6) 附属病院が主催し、新専門医制度における総合診療専門医及び総合診療医に関する普及・啓発を目的として、県内の医師、医療関係者、医学生を対象とした「青森県総合診療医育成フォーラム」を開催している。

④都道府県が貸与する奨学金を貸与する者の選抜方法	上記の都道府県が貸与する奨学金について、<u>どのような方法で対象学生を選抜するか、大学と都道府県との連携の在り方も含め、現時点の検討状況を具体的に記入して下さい。</u>なお、複数の方法により選抜を行う場合は、そのすべての方法について、方法ごとの対象人数とあわせて記入して下さい。 厚生労働省の通知を踏まえ、対象学生の選抜方法については現在検討中であるが、29年度貸与者の選抜方法は下記のとおりである。 1. 選考の基準 選考は、次の2点を基準において行う。 (1) 青森県内の医師充足を図る観点から、将来、国立大学法人弘前大学医学部（附属病院を含む。）又は県内自治体医療機関に勤務する意志があること。 (2) 修学機会の確保の観点から、家族の経済的状況を考慮すること。 2. 選考方法等 選考は、青森県との共同により次の順で行う。 (1) 特別枠の修学生の選考 ①第1次書類審査 ア. 支援申請者から提出された「所信書」により県内勤務の意志がないと判断される場合、出身世帯の所得額の合算額が概ね2,000万円を超え、支援する必要性が明らかに低いと判断される場合は、選考の対象から除外するものとする。 イ. 支援申請者から提出された「支援申請書」、「学業成績表（「調査表」）」の内容について審査を行い、別紙1「書類審査の選考基準」により点数化し、合計点を付し、その合計点の高い順に順位付けするものとする。 ウ. イの順位付けにより、学年毎に上位7名程度までを第1次書類審査の選考者とする。 ②第2次面接調査による選考 ア. 第1次書類審査で学年毎に選考された上位7名程度に対し面接調査を行う。 イ. 面接員は、青森県健康福祉部医師確保対策監、青森県医療薬務課長、青森県医療薬務課良医育成支援特別顧問、青森県国民健康保険団体連合会事務局長の職にある者とする。 ウ. 面接調査は別紙2「面接調査評定表」により項目毎に5段階で評定のうえ点数化して合計点を総合評定とし、各面接員による総合判定の合計点の上位5名程度（学年毎）を支援候補者として選考する。
--------------------------	--

	(2) 一般枠の修学生の選考 ①書類審査 ア. 支援申請者から提出された「所信書」により県内勤務の意志がないと判断される場合、出身世帯の所得額の合算額が概ね2,000万円を超え、支援する必要性が明らかに低いと判断される場合は、選考の対象から除外するものとする。 イ. 支援申請者から提出された「支援申請書」、「学業成績表(「調査表」)」の内容について審査を行い、別紙1「書類審査の選考基準」により点数化し、合計点を付し、その合計点の高い順に順位付けするものとする。 (特別枠で選考されなかった場合の一般枠の支援希望者を含む。) ウ. イの順位付けにより、一般枠は上位20名程度までを支援候補者とする。 エ. 一般枠の支援候補者のうち県外出身者が占める割合は、2割を限度とする。 ただし、支援申請者数が定員を下回るなどにより支援候補者数が定員に満たない場合はその限りではない。 平成22年度以降に同様の枠組みで増員した人数についても、都道府県が貸与する奨学金の対象学生の選抜方法を記入して下さい。なお、複数の方法により選抜を行う場合は、そのすべての方法について、方法ごとの対象人数とあわせて記入して下さい。 上記に同じ。
⑤その他	その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組について自由に記入して下さい。 とくに、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、記入して下さい。 ○高等学校との連携 1) 青森県内の高等学校進路指導担当教諭との懇談会を毎年開催し、大学側からの情報提供や高校側からの進学相談など、密に情報交換を行っている。 2) 高等学校への出前講義、医学部教員と高等学校教員との相互の授業参観等を実施するなど連携強化を図り、医学部進学への動機付けを促進して優秀な学生の呼び込み等を行っている。

	3) 医師を志す県内高等学校生及び保護者との懇談会を複数回開催し、更に県外においても青森県で医師として働くことに関心のある学生を発掘するため進学説明会を開催するなどして、本学医学部受験生の確保に腐心している。 4) 本学医学部附属病院が中心となり、県内の高校生を対象とした「高校生外科手術体験セミナー」を実施し、医学部進学に興味を持たせている。 5) 地域医療に特化した寄附講座の1つである「大館・北秋田地域医療推進学講座」が中心となり、大館・北秋田地域在住の高校生を対象とした病院見学会、模擬講義、Future Doctor セミナー等を開催し、本学医学部進学に興味を持たせている。 ○青森県との連携 1) オープンキャンパスのプログラムに青森県医師修学資金制度に関する説明会を加え、広く参加者に関心を持ってもらえるよう企画している。 2) 民間医局レジナビフェアに本学医学部教員も参加し、医学生・研修医の確保に努めている。 ○その他 1) 弘前市教育委員会が主催する、弘前市内の中学生を対象とした「中学生と医師との交流プログラム」に、本学医学部から若手医師や学生を派遣したり附属病院施設の見学を行うなど、早い時期から医師への関心を持ってもらうよう協力している。
--	--

【地域医療に関する学部教育のカリキュラムの概要】

○1年次

科目名：臨床医学入門（早期体験実習）

期間：前期（5日間）

場所：本学医学部附属病院及び学外医療施設、介護・福祉施設

教育内容等：本格的な基礎医学、臨床医学の講義や実習が始まる前に、実際の医療現場に身を置くことで、医療人としての使命感を自覚し、医師を目指すモチベーションを高める。

○2年次

科目名：地域医療入門

期間：前期（30時間）

場所：本学医学部

教育内容等：現在、医療および医学教育を取り巻く環境は急速に変化し、初期臨床研修医の大都市部病院への集中の結果、地方の病院の医師不足が深刻な社会問題となっている。特に、いわゆる「へき地」では医師不足はさらに深刻である。本授業では、津軽地域を中心に、地域の中核病院として機能している病院の卒後研修担当者及びへき地医療を実践している先生方による講義を予定している。これらの講義を通して、地域医療における地域の中核病院と高度救命センターを有する当大学医学部附属病院の役割を理解するとともに、へき地医療の現状および知識を習得することを目的とする。なお、6年次のクリニカル・クラークシップでは、医療現場を通して地域医療を経験し学ぶことになるが、本授業はその予備知識を得る上で重要である。

○3年次

科目名：社会医学実習

期間：前期（60時間）

場所：本学医学部及び学外施設

教育内容等：現状の医学部教育において、地域社会における保健活動の実態やそれに対する地域住民のニーズに接することはほとんどない。そこで、本授業では地域保健活動の実際を学内外での講義及び実習で学び、地域保健活動の企画から運営までの実践力を身につける。

○5年次

科目名：臨床実習Ⅰ

期間：前後期（40週）

場所：本学医学部附属病院

教育内容等：医学部附属病院における臨床各科の病棟・外来での臨床実習を通じて診療の実際を学ぶ。見学型実習(rotation)で終わることなく診療参加型実習(clinical clerkship)を目指す。具体的には、各診療科で指導医と一緒に患者を担当し、病歴聴取、身体診察、検査・治療時の立ち会い、施行可能な検査・治療の実践、検査所見の判読、カルテ記載、回診時プレゼンテーションなどを行い、基本的診療技能を獲得する。さらに、臨床各科の特徴的診療を学ぶ。

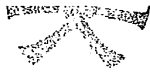
○6年次

科目名：臨床実習Ⅱ

期間：前期（16週）

場所：本学医学部附属病院及び本学関連医療機関

教育内容等：4月からの4か月間は、4週間を1クールとして医学部附属病院および弘前大学関連医療機関において診療参加型実習（クリニカル・クラークシップ）を行なう。指導医と一緒に患者診療を担当し、病歴聴取、身体診察、検査・治療時の立ち会い、施行可能な検査・治療の実践、検査所見の判読、カルテ記載、回診時プレゼンテーションなどを行い、基本的診療技能を確かなものとするとともに、医師のプロフェッショナリズムについて学ぶ。また、1クールは地域医療実習に当て、青森県へき地医療拠点病院を中心として実習を行い、地域医療、訪問診療、在宅医療など、現場を通して医療の実際を学ぶ。なお、9月～10月は学内各講座において研究室研究方式の実習を行う。

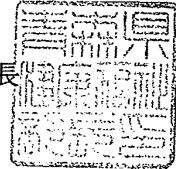


青 医 第 6 1 6 号

平成29年7月19日

厚生労働省医政局長 殿

青森県健康福祉部長



平成30年度医学部入学定員の増員に伴う対応について

標記医学部入学定員の増員について、本県では、下記のとおり対応します。

記

平成30年度弘前大学医学部入学定員の15名増員にあたっては、当該入学者についても、平成17年度より実施している医師修学資金支援事業（弘前大学医学部入学生特別対策事業）の対象とし、このことを「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」第4条第1項に規定する都道府県計画に盛り込みます。

（担当）

医療薬務課良医育成支援グループ

電話：017-734-9288

FAX：017-734-8089

E-mail：iryo@pref.aomori.lg.jp

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	サトウ ケイ 佐藤 敬 ＜平成24年2月＞		医学博士		弘前大学大学長 (平成24年2月)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等												
(医学部医学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 当 年 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授 (医学 部長)	ワカバヤシ コウイチ 若林 孝一 ＜平成12年2月＞		医学博士		医の原則 臨床医学入門 基礎人体科学演習 神経科学 病理学 病理学 病理学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1前 1前 1通 2後 2後 3前 3前 3後 3後 4後 6後	0.1 0.1 4.0 0.3 0.1 0.0 0.1 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成12年2月)	5日
2	専	教授	シモガタ ヒロシ 下田 浩 ＜平成24年4月＞		博士 (医学)		基礎人体科学演習 解剖学 解剖学実習 組織学 神経科学 組織学実習 神経科学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1通 2前 2前 2後 2後 2後 2後 3後 4後 6後	4.0 1.5 3.0 0.5 0.1 1.0 1.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成24年4月)	5日
3	専	教授	クラタ キヨシ 藏田 潔 ＜平成9年4月＞		医学博士		医の原則 基礎人体科学演習 生理学 生理学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1前 1通 2前 2前 3後 4後 6後	0.1 4.0 0.7 2.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成9年4月)	5日
4	専	教授	フジイ ヒロカ 藤井 穂高 ＜平成29年4月＞		博士 (文学)		医学英語Ⅰ 基礎人体科学演習 生化学（講義2） 生化学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1後 1通 2前 2前 3後 4後 6後	0.2 4.0 0.7 2.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成29年4月)	5日
5	専	教授	ムラカミ マサブ 村上 学 ＜平成24年12月＞		博士 (医学)		医の原則 基礎人体科学演習 薬理学 薬理学 薬理学実習 特別教育科目（研究室研修） 臨床薬理・和漢薬学 PBL 総合教育演習Ⅱ	1前 1通 2後 3前 3前 3後 4後 4後 6後	0.4 4.0 1.8 0.7 1.0 3.0 0.1 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成24年12月)	5日
6	専	教授	ミヅカミ ヒロキ 水上 浩哉 ＜平成26年11月＞		博士 (医学)		医学英語Ⅰ 基礎人体科学演習 病理学 病理学実習 病理学 病理学実習 特別教育科目（研究室研修） 病理診断学 PBL 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	1後 1通 2後 2後 3前 3前 3後 4後 4後 6前 6後	0.3 4.0 0.5 0.5 0.3 0.3 3.0 0.3 0.1 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成26年11月)	5日
7	専	教授	キジマ ヒロシ 鬼島 宏 ＜平成16年8月＞		医学博士		医の原則 病理学 病理学 特別教育科目（研究室研修） 病理診断学 臨床医学入門 病理学実習 病理学実習 基礎人体科学演習 総合教育演習Ⅰ（CBT） PBL 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅲ（総合試験） 総合教育演習Ⅱ	1前 2後 3前 3後 4後 4後 4後 4後 4後 4後 6前 6後 6後	0.2 0.9 0.2 3.0 0.3 0.1 0.3 0.2 4.0 1.0 0.1 12.8 1.0 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成16年8月)	5日
8	専	教授	タカハシ シロシ 高橋 識志 ＜平成27年5月＞		博士 (医学)		基礎人体科学演習 特別教育科目（研究室研修） 法医学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	1通 3後 4後 4後 4後 6前 6後	4.0 3.0 0.6 0.1 1.4 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成27年5月)	5日
9	専	教授	トミタ ヒロフミ 富田 泰史 ＜平成29年3月＞		博士 (医学)		循環器内科学・外科学Ⅰ 循環器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.4 0.3 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成29年3月)	5日

10	専	教授	タカ サトモ 田坂 定智 ＜平成28年1月＞	博士 (医学)	呼吸器内科学・外科学Ⅰ 感染症学 呼吸器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 0.1 0.6 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成28年1月)	5日
11	専	教授	ダイシ マコト 大門 真 ＜平成25年2月＞	医学博士	内分泌・代謝学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.6 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 (平成25年2月)	5日
12	専	教授	サトウ アツシ 佐藤 温 ＜平成24年7月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 臨床腫瘍学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 4後 5通 6前 6後	3.0 0.3 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成24年7月)	5日
13	専	教授	ナカムラ カズヒロ 中村 和彦 ＜平成25年1月＞	博士 (医学)	神経精神医学Ⅰ 神経精神医学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成25年1月)	5日
14	専	教授	イトリ エツウ 伊藤 悦朗 ＜平成12年12月＞	博士 (医学)	臨床医学入門 小児科学Ⅰ 小児科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	1前 3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.6 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成12年12月)	5日
15	専	教授	フクダ イクオ 福田 幾夫 ＜平成13年12月＞	博士 (医学)	外科学概論 循環器内科学・外科学Ⅱ 医療安全学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 特別教育科目（研究室研修） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4前 4後 4後 3後 5通 6前 6後	0.1 0.2 0.3 0.1 1.4 3.0 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成13年12月)	5日
16	専	教授	ハシダ ケンイチ 袴田 健一 ＜平成20年8月＞	医学博士	消化器内科学・外科学Ⅰ 消化器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.0 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成20年8月)	5日
17	専	教授	イシバシ ヤスキ 石橋 恭之 ＜平成24年12月＞	博士 (医学)	臨床医学入門 整形外科Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	1後 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.6 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 (平成24年12月)	5日
18	専	教授	ツバタ エイチ 津田 英一 ＜平成28年2月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） リハビリテーション医学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4後 4後 5通 6前 6後	3.0 0.5 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 (平成28年2月)	5日
19	専	教授	サカムラ タイスカ 澤村 大輔 ＜平成19年2月＞	医学博士	特別教育科目（研究室研修） 皮膚科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 (平成19年2月)	5日
20	専	教授	オヤマ チカラ 大山 力 ＜平成16年8月＞	医学博士	特別教育科目（研究室研修） 泌尿器科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 (平成16年8月)	5日
21	専	教授	ナカザワ ミツル 中澤 満 ＜平成10年4月＞	医学博士	特別教育科目（研究室研修） 眼科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.9 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 (平成10年4月)	5日
22	専	教授	マツバラ アツシ 松原 篤 ＜平成26年8月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.4 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 (平成26年8月)	5日
23	専	教授	アキモリ マサヒコ 青木 昌彦 ＜平成29年7月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 放射線腫瘍学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.4 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 (平成29年7月)	5日

24	専	教授	ヨコヤマ ヨシト 横山 良仁 ＜平成28年8月＞	医学博士	臨床医学入門 婦人科学 特別教育科目（研究室研修） 臨床薬理・和漢薬学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	1前 3後 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.3 0.4 3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1	教授 （平成28年8月）	5日
25	専	教授	ヒロタ カズヨシ 廣田 和美 ＜平成16年9月＞	医学博士	臨床医学入門 麻酔科学・緩和医療学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	1後 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 （平成16年9月）	5日
26	専	教授	オウカマ ヒロキ 大熊 洋揮 ＜平成16年2月＞	医学博士	特別教育科目（研究室研修） 脳神経外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.5 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 （平成16年2月）	5日
27	専	教授	コバヤシ リタル 小林 恒 ＜平成27年10月＞	医学博士	特別教育科目（研究室研修） 歯科口腔外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.4 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 （平成27年10月）	5日
28	専	教授	ウルシダテ サトシ 漆館 聡志 ＜平成24年1月＞	博士 （医学）	特別教育科目（研究室研修） 形成外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.4 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 （平成24年1月）	5日
29	専	教授	ヤマムラ ヒトシ 山村 仁 ＜平成27年4月＞	博士 （医学）	地域医療入門 特別教育科目（研究室研修） 救急・災害医学 医療安全学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	2前 3後 4前 4前 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.4 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1	教授 （平成27年4月）	5日
30	専	教授	カハバ ヒロキ 萱場 広之 ＜平成23年11月＞	博士 （医学）	特別教育科目（研究室研修） 臨床検査医学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 4後 5通 6前 6後	3.0 0.5 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	教授 （平成23年11月）	5日
31	専	教授	クロセ アキラ 黒瀬 顕 ＜平成22年12月＞	博士 （医学）	病理学 病理学 病理学実習 特別教育科目（研究室研修） 病理診断学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	2後 3前 3前 3後 4後 4後 4後 6前 6後	0.3 0.1 0.1 3.0 0.2 0.1 1.4 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 （平成22年12月）	5日
32	専	教授	ササキ ヨシヒロ 佐々木 賀広 ＜平成24年10月＞	博士 （医学）	特別教育科目（研究室研修） 医学英語Ⅳ PBL 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 6後	3.0 0.5 0.1 8.0	1 1 1 1	教授 （平成24年10月）	5日
33	専	教授	カトリ ヒロキ 加藤 博之 ＜平成16年2月＞	医学博士	臨床医学入門 臨床医学入門 地域医療入門 症候学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 特別教育科目（研究室研修） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	1前 1後 2前 4前 4後 4後 3後 5通 6前 6後	0.9 1.3 0.1 1.0 0.1 1.4 3.0 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 （平成16年2月）	5日
34	専	教授	ニイカ タケヲ 新岡 丈典 ＜平成29年11月＞	博士 （医療薬学）	特別教育科目（研究室研修） 臨床薬理・和漢薬学 PBL 総合教育演習Ⅱ	3後 4後 4後 6後	3.0 0.5 0.1 8.0	1 1 1 1	教授 （平成29年11月）	5日
35	専	教授	イマイミ タカアツ 今泉 忠淳 ＜平成25年2月＞	医学博士	基礎人体科学演習 神経科学 医学英語Ⅲ 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1通 2後 3後 3後 4後 6後	4.0 0.1 1.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 （平成25年2月）	5日
36	専	教授	ウエノ シンヤ 上野 伸哉 ＜平成16年2月＞	博士 （医学）	医の原則 臨床医学入門 臨床医学入門 基礎人体科学演習 医学英語Ⅱ 神経科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1前 1前 1後 1通 2後 2後 3後 4後 6後	0.1 0.1 0.1 4.0 1.0 0.1 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 （平成16年2月）	5日
37	専	教授	ショウシン ミキオ 東海林 幹夫 ＜平成18年1月＞	医学博士	神経内科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	教授 （平成18年1月）	5日

38	専	教授	イトウ ケン 伊東 健 ＜平成18年1月＞	博士 (医学)	基礎人体科学演習 生化学（講義Ⅰ） 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1通 2前 3後 4後 6後	4.0 0.6 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1	教授 (平成18年1月)	5日
39	専	准教授	キノシタ マサハル 木下 正治 ＜平成25年4月＞	博士 (医学)	生理学 生理学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2前 2前 3後 4後 6後	0.6 2.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1	准教授 (平成25年4月)	5日
40	専	准教授	ヤマダ カサヤ 山田 勝也 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	生理学 生理学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2前 2前 3後 4後 6後	0.3 2.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1	准教授 (平成19年4月)	5日
41	専	准教授	フルカワ ケンイチ 古川 賢一 ＜平成19年4月＞	理学博士	薬理学 薬理学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	3前 3前 3後 4後 6後	0.3 1.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1	准教授 (平成19年4月)	5日
42	専	准教授	アサノ クリスタ 浅野 クリスナ ＜平成29年4月＞	博士 (医学)	基礎人体科学演習 免疫学 微生物学 微生物学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1通 2後 2後 2後 3後 4後 6後	4.0 0.0 1.2 1.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成29年4月)	5日
43	専	准教授	シロヤマ タカシ 下山 克 ＜平成24年4月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成24年4月)	5日
44	専	准教授	シロミ ツグヤ 三上 達也 ＜平成24年4月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成24年4月)	5日
45	専	准教授	ナカムラ リオ 中村 典雄 ＜平成22年11月＞	博士 (医学)	腎臓内科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成22年11月)	5日
46	専	准教授	ササキ シンゴ 佐々木 真吾 ＜平成22年1月＞	博士 (医学)	循環器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成22年1月)	5日
47	専	准教授	ヒガシマ タカミ 樋熊 拓未 ＜平成23年4月＞	博士 (医学)	循環器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.4 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成23年4月)	5日
48	専	准教授	キムラ マサオミ 木村 正臣 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	循環器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成27年4月)	5日
49	専	准教授	カゲヤマ カズノリ 蔭山 和則 ＜平成28年4月＞	医学博士	内分泌・代謝学Ⅰ 内分泌・代謝学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.2 0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成28年4月)	5日
50	専	准教授	フルコリ リオ 古郡 規雄 ＜平成21年3月＞	博士 (医学)	神経精神医学Ⅰ 神経精神医学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成21年3月)	5日
51	専	准教授	テルイ キミノリ 照井 君典 ＜平成27年6月＞	博士 (医学)	小児科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成27年6月)	5日
52	専	准教授	スズキ ヤスキ 鈴木 保之 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	外科学概論 循環器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.2 3.0 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成19年4月)	5日

53	専	准教授	ダイト カズキ 大徳 和之 ＜平成26年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 医療安全学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成26年4月)	5日
54	専	准教授	イトウ ケイタ 石戸 圭之輔 ＜平成28年4月＞	博士 (医学)	外科学概論 消化器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成28年4月)	5日
55	専	准教授	ウヅマ ナキ 和嶋 直紀 ＜平成25年11月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成25年11月)	5日
56	専	准教授	ヒラバヤシ タケ 平林 健 ＜平成29年4月＞	博士 (医学)	外科学概論 特別教育科目（研究室研修） 小児外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4前 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 1.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成29年4月)	5日
57	専	准教授	ナカノ ハジメ 中野 創 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 皮膚科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成19年4月)	5日
58	専	准教授	コエ タケ 古家 琢也 ＜平成24年11月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 泌尿器科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成24年11月)	5日
59	専	准教授	ササキ アキラ 佐々木 亮 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.3 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成27年4月)	5日
60	専	准教授	オノ シュウイチ 小野 修一 ＜平成19年4月＞	医学博士	放射線診断学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.6 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成19年4月)	5日
61	専	准教授	タナカ カンジ 田中 幹二 ＜平成24年11月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 周産期医学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.7 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成24年11月)	5日
62	専	准教授	フナギミ マサユキ 二神 真行 ＜平成29年6月＞	博士 (医学)	婦人科学 特別教育科目（研究室研修） 周産期医学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4前 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成29年6月)	5日
63	専	准教授	クサカタ テロキ 櫛方 哲也 ＜平成25年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 麻酔科学・緩和医療学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成25年4月)	5日
64	専	准教授	キタヤマ マサトシ 北山 眞任 ＜平成27年4月＞	博士（医学）	特別教育科目（研究室研修） 麻酔科学・緩和医療学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成27年4月)	5日
65	専	准教授	ハシバ エイジ 橋場 英二 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 麻酔科学・緩和医療学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.3 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成27年4月)	5日
66	専	准教授	アサノ ケンイチロウ 浅野 研一郎 ＜平成26年11月＞	博士 (医学)	内分泌・代謝学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） 脳神経外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4前 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成26年11月)	5日
67	専	准教授	サイトウ ノリヒロ 齋藤 紀先 ＜平成25年3月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 臨床検査医学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 4後 5通 6前 6後	3.0 0.4 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成25年3月)	5日

68	専	准教授	カワ ノホ 加藤 哲子 ＜平成26年4月＞	博士 (医学)	病理学 病理学 病理学実習 特別教育科目（研究室研修） 病理診断学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	2後 3前 3前 3後 4後 4後 4後 6前 6後	0.1 0.0 0.0 3.0 0.1 0.1 1.4 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成26年4月)	5日
69	専	准教授	マツガキ マサシ 松坂 方士 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 医学英語Ⅳ PBL 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 6後	3.0 0.5 0.1 8.0	1 1 1 1	准教授 (平成27年4月)	5日
70	専	准教授	オオサキ ヒロシ 大沢 弘 ＜平成22年7月＞	医学博士	腎臓内科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.2 3.0 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	准教授 (平成22年7月)	5日
71	専	准教授	モリ フミキ 森 文秋 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	神経科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2後 3後 4後 6後	0.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1	准教授 (平成19年4月)	5日
72	専	准教授	カワバヤシ タケシ 瓦林 毅 ＜平成26年10月＞	博士 (医学)	神経内科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成26年10月)	5日
73	専	准教授	柿サキ イコ 柿崎 育子 ＜平成20年1月＞	博士 (薬学)	基礎人体科学演習 生化学（講義Ⅰ） 生化学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1通 2前 2前 3後 4後 6後	4.0 0.6 2.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1	准教授 (平成20年1月)	5日
74	専	講師	アサノ ヨシヤ 浅野 義哉 ＜平成29年4月＞	博士 (医学)	組織学 神経科学 組織学実習 神経科学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2後 2後 2後 2後 3後 4後 6後	0.4 0.1 1.0 1.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成29年4月)	5日
75	専	講師	ワタナベ セイジ 渡邊 誠二 ＜平成29年4月＞	博士 (医学)	解剖学 解剖学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2前 2前 3後 4後 6後	1.0 3.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1	講師 (平成29年4月)	5日
76	専	講師	クラウチ シズカ 倉内 静香 ＜平成28年4月＞	博士 (医学)	基礎人体科学演習 社会医学 社会医学実習 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 総合教育演習Ⅱ	1通 3前 3前 3後 4後 4後 6後	4.0 0.3 2.0 3.0 0.1 1.4 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成28年4月)	5日
77	専	講師	タマイ ヨシコ 玉井 佳子 ＜平成16年4月＞	博士 (医学)	感染症学 特別教育科目（研究室研修） 血液内科学Ⅰ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4前 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.6 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成16年4月)	5日
78	専	講師	エンドウ レツ 遠藤 哲 ＜平成22年2月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅰ 消化器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成22年2月)	5日
79	専	講師	ヤマカミ カズフミ 山形 和史 ＜平成21年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 血液内科学Ⅰ 血液内科学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.7 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成21年4月)	5日
80	専	講師	サトリ ケン 佐藤 研 ＜平成24年4月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成24年4月)	5日
81	専	講師	サクラバ ヒロカ 櫻庭 裕丈 ＜平成28年4月＞	博士 (医学)	臨床免疫学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成28年4月)	5日
82	専	講師	シマダ ミチコ 島田 美智子 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	腎臓内科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（ <i>クリニカルラーニング</i> ） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年4月)	5日

83	専	講師	ヤマダ マサヒロ 山田 雅大 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	循環器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年4月)	5日
84	専	講師	タイマ カサアキ 富麻 景章 ＜平成26年10月＞	博士 (医学)	呼吸器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成26年10月)	5日
85	専	講師	ムラカミ ヒロシ 村上 宏 ＜平成25年4月＞	博士 (医学)	感染症学 内分泌・代謝学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.2 0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成25年4月)	5日
86	専	講師	ヤギギ マサキ 柳町 幸 ＜平成28年4月＞	博士 (医学)	感染症学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成28年4月)	5日
87	専	講師	テルイ ケン 照井 健 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	内分泌・代謝学Ⅰ 感染症学 内分泌・代謝学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 0.5 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年4月)	5日
88	専	講師	タカハタ ケン 高畑 武功 ＜平成23年10月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 臨床腫瘍学 PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成23年10月)	5日
89	専	講師	サイト マサブ 斉藤 まなぶ ＜平成23年2月＞	博士 (医学)	神経精神医学Ⅰ 神経精神医学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成23年2月)	5日
90	専	講師	ササキ シンヤ 佐々木 伸也 ＜平成27年6月＞	博士 (医学)	小児科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年6月)	5日
91	専	講師	ツシマ タカオ 對馬 敬夫 ＜平成11年4月＞	医学博士	呼吸器内科学・外科学Ⅰ 呼吸器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 3.0 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成11年4月)	5日
92	専	講師	ミナガワ マサヒト 皆川 正仁 ＜平成18年6月＞	博士 (医学)	循環器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成18年6月)	5日
93	専	講師	コンドウ ナリヒロ 近藤 慎浩 ＜平成28年7月＞	博士 (医学)	循環器内科学・外科学Ⅰ 循環器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 3.0 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成28年7月)	5日
94	専	講師	サカモト ヨシユキ 坂本 義之 ＜平成27年3月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年3月)	5日
95	専	講師	コウダイシ 工藤 大輔 ＜平成25年11月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 5通 6前 6後	0.0 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成25年11月)	5日
96	専	講師	キムラ ナリヒサ 木村 憲央 ＜平成26年7月＞	博士 (医学)	外科学概論 消化器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成26年7月)	5日

97	専	講師	モロハシ ハジメ 諸橋 一 ＜平成28年4月＞	博士 (医学)	外科学概論 消化器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成28年4月)	5日
98	専	講師	ヤマモト ユウジ 山本 祐司 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	整形外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） 整形外科学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4前 4後 5通 6前 6後	0.2 3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年4月)	5日
99	専	講師	シガラ カズトモ 三浦 和知 ＜平成29年4月＞	博士 (医学)	外科学概論 特別教育科目（研究室研修） リハビリテーション医学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.1 3.0 0.3 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成29年4月)	5日
100	専	講師	マクサキ ケイシ 松崎 康司 ＜平成16年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 皮膚科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成16年4月)	5日
101	専	講師	カネコ タカヒデ 金子 高英 ＜平成18年10月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 皮膚科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成18年10月)	5日
102	専	講師	ヨネヤマ タカヒロ 米山 高弘 ＜平成22年8月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 泌尿器科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成22年8月)	5日
103	専	講師	ハタケヤマ シンゴ 畠山 真吾 ＜平成25年2月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 泌尿器科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成25年2月)	5日
104	専	講師	アベ タカヒサ 阿部 尚央 ＜平成27年7月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年7月)	5日
105	専	講師	タカハタ ジュンコ 高畑 淳子 ＜平成27年7月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年7月)	5日
106	専	講師	ミウラ ヒロユキ 三浦 弘行 ＜平成16年4月＞	博士 (医学)	放射線診断学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成16年4月)	5日
107	専	講師	フクハラ リエ 福原 理恵 ＜平成29年4月＞	博士 (医学)	婦人科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.2 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成29年4月)	5日
108	専	講師	キムラ フトシ 木村 太 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	麻酔科学・緩和医療学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） 臨床薬理・和漢薬学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.4 3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年4月)	5日
109	専	講師	ニワ ヒデトモ 丹羽 英智 ＜平成28年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 麻酔科学・緩和医療学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4後 4後 5通 6前 6後	3.0 0.4 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成28年4月)	5日
110	専	講師	シムラ ノリヒト 嶋村 則人 ＜平成16年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 脳神経外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成16年4月)	5日
111	専	講師	タベタ コウセイ 久保田 耕世 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 歯科口腔外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 (平成27年4月)	5日

112	専	講師	ナカワ ヒロシ 中川 祥 ＜平成28年6月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 歯科口腔外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 （平成28年6月）	5日
113	専	講師	ヨコイ カツリ 横井 克憲 ＜平成17年2月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 形成外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 （平成17年2月）	5日
114	専	講師	ミカミ マコト 三上 誠 ＜平成29年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 形成外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	講師 （平成29年4月）	5日
115	専	講師	イトウ カツヒロ 伊藤 勝博 ＜平成22年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 脳神経外科学 救急・災害医学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 4前 4前 4後 5通 6前 6後	3.0 0.1 0.3 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 （平成22年4月）	5日
116	専	講師	マツタニ ヒデアキ 松谷 秀哉 ＜平成14年10月＞	理学修士	医用システム工学概論 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 総合教育演習Ⅱ	2前 3後 4後 4後 6後	1.0 3.0 0.1 1.4 8.0	1 1 1 1 1	講師 （平成14年10月）	5日
117	専	講師	ヨシダ ヒデミ 吉田 秀見 ＜平成7年8月＞	博士 (医学)	医の原則 神経科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	1前 2後 3後 4後 6後	0.1 0.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1 1	講師 （平成7年8月）	5日
118	専	講師	ミムラ ジョウセイ 三村 純正 ＜平成19年10月＞	博士 (医学)	生化学（講義Ⅰ） 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2前 3後 4後 6後	0.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1	講師 （平成19年10月）	5日
119	専	講師	マイタ ヒロキ 米田 博輝 ＜平成28年5月＞	学士 (医学)	地域医療入門 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	2前 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.0 3.0 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1	講師 （平成28年5月）	5日
120	専	助教	サワヤ マサフミ 澤谷 学 ＜平成22年4月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3後 4後 5通 6前	0.0 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 （平成22年4月）	5日
121	専	助教	サワタ ナオキ 澤田 直也 ＜平成28年4月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 （平成28年4月）	5日
122	専	助教	ヒサカ ヒロト 平賀 寛人 ＜平成24年4月＞	博士 (医学)	臨床免疫学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 （平成24年4月）	5日
123	専	助教	ミナミ ケンイチロウ 三上 健一郎 ＜平成23年4月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 （平成23年4月）	5日
124	専	助教	フジタ タカシ 藤田 雄 ＜平成25年8月＞	博士 (医学)	腎臓内科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.2 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 （平成25年8月）	5日
125	専	助教	タカヤ スズノブ 高安 忍 ＜平成22年4月＞	博士 (医学)	内分泌・代謝学Ⅰ 内分泌・代謝学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3後 3後 4後 5通 6前	0.3 0.6 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1 1	助教 （平成22年4月）	5日
126	専	助教	オオサト アキラ 大里 純子 ＜平成22年6月＞	博士 (医学)	神経精神医学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 （平成22年6月）	5日
127	専	助教	トシタ テロ 富田 哲 ＜平成26年4月＞	博士 (医学)	神経精神医学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 （平成26年4月）	5日
128	専	助教	オオタニ カサキ 大谷 勝記 ＜平成20年4月＞	博士 (医学)	小児科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3後 3後 4後 5通 6前 6後	0.3 3.0 0.1 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1	助教 （平成20年4月）	5日

129	専	助教	クドウ コウ 工藤 耕 ＜平成25年10月＞	学士 (医学)	小児科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成25年10月)	5日
130	専	助教	カミタ タケ 神尾 卓哉 ＜平成22年4月＞	博士 (医学)	小児科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成22年4月)	5日
131	専	助教	モリタ ダイスケ 木村 大輔 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	外科学概論 呼吸器内科学・外科学Ⅰ 呼吸器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング） 総合教育演習Ⅱ	3前 3前 3後 3後 4後 4後 5通 6前 6後	0.1 0.1 0.1 3.0 0.1 1.4 1.6 12.8 8.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1	助教 (平成19年4月)	5日
132	専	助教	サカイ タケヒロ 境 雄大 ＜平成28年7月＞	博士 (医学)	呼吸器内科学・外科学Ⅰ 呼吸器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習入門（演習科目） 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3後 3後 4後 4後 5通 6前	0.1 0.1 3.0 0.1 1.4 1.6 12.8	1 1 1 1 1 1 1	助教 (平成28年7月)	5日
133	専	助教	ニシ タカシ 西 隆 ＜平成22年4月＞	博士 (医学)	内分泌・代謝学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3後 4後 5通 6前	0.2 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成22年4月)	5日
134	専	助教	ワキヤ タイイチ 脇屋 太一 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	外科学概論 消化器内科学・外科学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3前 3後 4後 5通 6前	0.1 0.0 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1 1	助教 (平成27年4月)	5日
135	専	助教	ミヅウ タケ 三浦 卓也 ＜平成27年10月＞	博士 (医学)	消化器内科学・外科学Ⅱ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成27年10月)	5日
136	専	助教	ムロヤ タケヒロ 室谷 隆裕 ＜平成26年4月＞	博士 (医学)	外科学概論 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3前 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成26年4月)	5日
137	専	助教	オシロ シュウタ 大鹿 周佐 ＜平成24年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 整形外科科学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成24年4月)	5日
138	専	助教	ウエハタ リョウコ 上里 涼子 ＜平成25年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 整形外科科学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成25年4月)	5日
139	専	助教	モリタ ユキ 木村 由佳 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 整形外科科学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成27年4月)	5日
140	専	助教	ササキ シズカ 佐々木 静 ＜平成29年4月＞	博士 (文学)	特別教育科目（研究室研修） 整形外科科学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成29年4月)	5日
141	専	助教	ナカジマ コウジ 中島 康爾 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 皮膚科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成19年4月)	5日
142	専	助教	アイヅ トモキ 会津 隆幸 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 皮膚科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成19年4月)	5日
143	専	助教	タケコシ リコ 滝吉 典子 ＜平成26年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 皮膚科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成26年4月)	5日
144	専	助教	アカサカ エイジロウ 赤坂 英二郎 ＜平成23年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 皮膚科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成23年4月)	5日
145	専	助教	ハタヤマ ヨシノリ 畑山 佳臣 ＜平成27年10月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 放射線腫瘍学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成27年10月)	5日

146	専	助教	ツシマ フミヤス 対馬 史泰 ＜平成23年4月＞	博士 (医学)	放射線診断学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成23年4月)	5日
147	専	助教	カワグチ ヒロオ 川口 英夫 ＜平成22年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 放射線腫瘍学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成22年4月)	5日
148	専	助教	カケハタ シンヤ 掛端 伸也 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	放射線診断学 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.1 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成27年4月)	5日
149	専	助教	サトウ マリコ 佐藤 まり子 ＜平成27年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 放射線腫瘍学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成27年4月)	5日
150	専	助教	イトウ アサミ 伊東 麻美 ＜平成29年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 周産期医学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成29年4月)	5日
151	専	助教	オノ トモコ 小野 朋子 ＜平成22年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 麻酔科学・緩和医療学Ⅱ PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.2 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成22年4月)	5日
152	専	助教	クドウ タカシ 工藤 隆司 ＜平成22年5月＞	博士 (医学)	麻酔科学・緩和医療学Ⅰ 特別教育科目（研究室研修） PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 3後 4後 5通 6前	0.3 3.0 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成22年5月)	5日
153	専	助教	サイトリ ユリコ 齋藤 百合子 ＜平成28年4月＞	博士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 形成外科学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.1 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成28年4月)	5日
154	専	助教	ヤクヰチ シンヤ 矢口 慎也 ＜平成20年4月＞	学士 (医学)	特別教育科目（研究室研修） 救急・災害医学 PBL 臨床実習Ⅰ（学内BSL） 臨床実習Ⅱ（クリニカルラーニング）	3後 4前 4後 5通 6前	3.0 0.3 0.1 1.6 12.8	1 1 1 1 1	助教 (平成20年4月)	5日
155	専	助教	カンジ ケイコ 丹治 邦和 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	神経科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2後 3後 4後 6後	0.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1	助教 (平成19年4月)	5日
156	専	助教	マツミヤ トモオ 松宮 朋穂 ＜平成19年4月＞	博士 (医学)	神経科学 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2後 3後 4後 6後	0.0 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1	助教 (平成19年4月)	5日
157	専	助教	ヤマザキ ヒロミ 山崎 博未 ＜平成25年8月＞	博士 (医学)	生化学（講義Ⅰ） 特別教育科目（研究室研修） PBL 総合教育演習Ⅱ	2前 3後 4後 6後	0.1 3.0 0.1 8.0	1 1 1 1	助教 (平成25年8月)	5日

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。